

文化を創る、フラッグシップ。

2017 冬

GRANSHIP

グランシップマガジン vol.8



特集

3年ぶりにグランシップで創作「風の千層」の巻

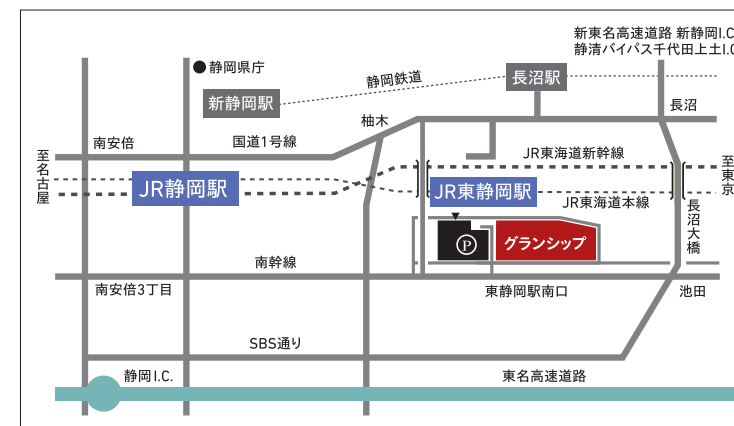
2016年しずおか連詩の会 発表会レポート

GRANSHIP グランシップマガジン vol.8 2016年12月15日発行

公益財団法人 静岡県文化財団



会議ホール・風



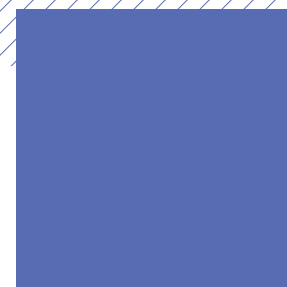
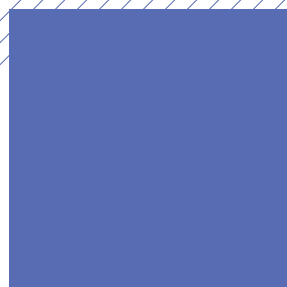
ACCESS

- JR東静岡駅南口隣接
静岡鉄道長沼駅から徒歩10分
- 東海道新幹線(ひかり)で
東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分
- 車では東名高速道路 静岡I.C.から20分
新東名高速道路 新静岡I.C.から15分
静岡バイパス千代田上土I.C.から10分
- 富士山静岡空港から静鉄バス
(静岡エアポートライナー)で静岡駅まで55分
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分

GRANSHIP
Shizuoka Convention & Arts Center

ふじのくに
芸術回廊

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 指定管理者 公益財団法人静岡県文化財団
〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716 <http://www.granship.or.jp>



GRANSHIP Contents

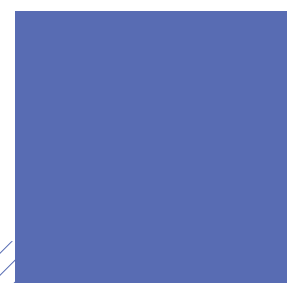
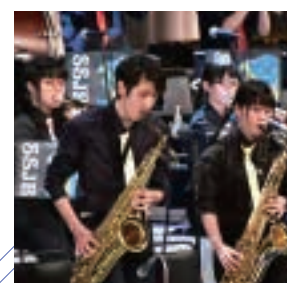
04	Feature 3年ぶりにグランシップで創作「風の千層」の巻 2016年しずおか連詩の会 発表会レポート
08	Interview スペシャルインタビュー リー・リトナー 心から湧き出る音楽を届け続けて
10	GRANSHIP Feature Stage グランシップ中学生のための音楽会 円光寺雅彦指揮 名古屋フィルハーモニー交響楽団
12	Pick up1 高校生の熱きジャズパフォーマンス グランシップハイスクール・ジャズ・フェスティバル2017
13	Column 岩下尚史の伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。 Vol.8 何か一つ稽古すれば、ほかの芸にも応用が利くものです。
14	Pick up2 宮中文化を伝える京雛をお披露目 高松宮妃のおひなさま展
15	Pick up3 落語をもっと身近に、もっと気軽に グランシップ寄席く菊之丞・白酒 春の二人会く
16	GRANSHIP Event Calendar 2017年1月く3月のイベントカレンダー
20	Outreach グランシップ子どもアート体験！学校プログラム 六代目宝井馬琴監修 講談教室
21	Information グランシップ 静岡の魅力第9回 フォトコンテスト2017
22	Information グランシップ友の会 会員募集中！
23	Introduction ふじのくに文化情報センター通信 Vol.7
24	Introduction シーンボイス・浜松 & 日本茶道塾 ごともに、大人に、きちんと伝えよう 地域の文化
25	Introduction 地域の活性化に取り組む文化施設 さあ、行こう！あなたの街で文化の幕開け
26	Exhibition 歩いて、出会って、こころ温まる、静岡の冬 2017年1月く3月のイベント情報
30	Information SPAC 棚川寛子「目指すのは、動き・台詞・音楽の三位一体」
32	Information 静岡県立美術館「西洋の絵画3」「山の風景」「蜷川実花展」
34	Introduction 貸施設のく案内 様々な使い方ができる大小19室の会議室
35	Information & Communication

表紙の絵



川見俊《成人式》2016年 22×33.5cm キャンヴァスに油彩

川見俊／1981年佐久間町生まれ。佐久間高校卒業後、名古屋造形芸術大学デザイン科に進学。卒業後も愛知に残り、東海エリアを中心に作家活動を行っています。絵画の他に、立体やインスタレーション、写真などいろいろな手法で作品を作っています。「地元」は自分にとって大事なテーマの1つになっています。



連詩の会を終えて

今回、参加した詩人・俳人のうち、さばき手の野村喜和夫さんを除く3人が「しずおか連詩の会」初参加。果たしてどのような感想を抱いたのでしょうか？



座の4人中3人が連詩の会初参加とは思えないほど、創作はスムーズに運びました。自画自讃になりますが、とてもいい連詩を巻けたのではないのでしょうか。

野村喜和夫

詩人。当会への参加は11回目。昨年に引き続き創作の場をまとめる「さばき手」を務めた。戦後世代を代表する現代詩人の1人。

ほかの人と長い時間を共有することで、自分の体に他者が入り込んだようでした。この経験は今後も生き続けるだろうと思います。

高貝弘也

詩人。『再生する光』で第十九回現代詩花椿賞を、『子葉声韻』で第三十九回高見順賞・第九回山本健吉文学賞など数々の文学賞を受賞。

魂と魂とが触れ合うような得難い経験ができました。また、詩人の方と交わることで、俳句、俳人について改めて考えました。

高柳克弘

俳人。静岡県浜松市出身。2016年、第2句集「寒林」を刊行。俳誌「鷹」編集長、読売新聞夕刊「KODOMO俳句」選者も務める。

WEB上で連詩に挑戦したことはありますが、時間と場を共有しての創作は初体験。人と関わりながら詩を作るのは刺激的でとても楽しかったです。

暁方ミセイ

詩人。2010年、第48回現代詩手帖賞を受賞しデビュー。2012年、第一詩集『ウィルスちゃん』で第17回中原中也賞受賞。

【第27番〜第32番の解説】
喜和夫：高柳さんの第27番は連詩に新しい形式を導き入れてくれました。
作です。1行目は恋が始まったばかりの初々しい様子を、2行目は終電で帰らなければいけないのを惜しむ付き合いはじめたばかりの2人を詠んでいます。3行目は別れた後の句で、ソファに座るときに、つい彼女が座るスペースを空けて端に座ってしまう男の寂しさを書いています。犬ぶくり、すみれぐさ、ヒヤシンスはいずれも春の季語です。
ミセイ：前の高柳さんの詩が、春に付き合い始めて別れた2人の物語だったので、私は別れたさらにその後の話を書くと思って夏にしました。「くらげの幽霊」は打上花火の比喻です。花火大会が行われているのに、恋人のいない彼はそれを見に行かずに自宅に向かう階段の途中で振り返って見ている、というイメージです。
喜和夫：前の詩の「欲すれば風にも肉体はある」を受けて、「風に肉体があるなら抱いてみようじゃないか」という悪ノリで作った詩です。ランボーという詩人の作品に「ぼくは夏のあけぼのを抱いた」というフレーズがあります。この場合は風、そのなかでも冷たい木枯らしを抱いたので霜焼けになってしまった、という内容です。2行目は、山口誓子の「海に出て木枯らし帰る所なし」という有名な句から着想を得ています。

2016年 しずおか連詩の会



グランシップ 2016年しずおか連詩の会 発表会レポート



詩人・俳人が紡ぐ言葉のアート

「連詩」とは、複数人で短い詩をリレーのように連ねていく創作現代詩。1999年の開始以来、17回目となる「しずおか連詩の会」。今年は3人の詩人と1人の俳人が参加。3日間で32編の連詩を巻き上げました。ここでは、今回創作された「風の千層」の巻の全編と、11月20日の発表会で作者らが語った解説の一部をご紹介します。

【第1番〜第4番の解説】

ミセイ：発句は、創作初日の朝、宿泊先の窓から見た風景を書きました。今回の連詩のタイトルにも使っていた「風の千層」という言葉は、風の中にも冷たいところや熱いところがあつて、また、ときには、過去を思い出させるにおいや肌触りが混じり合っていて、そういう多様なものを含んだいろいろな層があるのだという意味を込めています。

克弘：暁方さんの第1番が晴れ晴れとした夜明けの光景を書いているので、その勢いを受け継いで、私も胸を張ってはじめたいと考えました。そこで、富士山という偉大な存在に対して新しい切り口を見つけてやるぞ、それを消化してやるぞ、という意味で「富士山を食っても下痢しない」というフレーズを放り込みました。富士山からは、浜松出身の自分の幼少期を思い出すのと同時に、今年誕生した第一子の税金や保険について考え

る機会がありまして、人が社会に組み込まれていく現実的なものを表現しました。

弘也：第3番では世界を垂直軸で広げたいと思い、宇宙から海の底までを書きました。3行目の空白は海と空の間の海面をイメージしています。

喜和夫：空白の行というのは本来タブーでして、少し議論になったんです。でも最終的には「何もない空白も詩ではないか」という結論になり、そのまま採用となりました。空白の行が入ったのは、この連詩の会ではじめてかもしれません。続く第4番の「ルナティック」は前の詩の「月」を受けています。ルナティックという単語には狂うという意味がありまして、ちょっと狂ったところのある我々詩人の頭の中を覗いてみたらどんな現象が起きているのか？と想像を働かせて書いたのが2〜3行です。「たわごとの虹」は詩のメタファーです。

【第9番〜第12番の解説】

弘也：詩が少し暗いほうに傾いていたので、ここで大きく明るい方向へ変えました。5行目では、淡い恋心を書けたかなあと思っています。

克弘：詩らしい詩が続いたので、このあたりで闖入者のように俳句が現れるのも悪くないかなと思いついて、普段私が作っている俳句を入れましたが、これは1つの恋の始まりから終わりまでをうたった三句からなる連

一	日は海中より現れて 閉ざしたまぶた、しんとする町を 薄橙と紫で温める 可視へゆめく風の千層 その三つか四つがこへたわんで触れてくる時	ミセイ
二	富士を食っても下痢しない 這い這いの先に 税と保険と 駿河湾上 ポケモンゲットだ	克弘
三	赤ん坊が泣いて 朧 ^{ろく} 月 ^{げつ} がさらに地球に近づく	喜和夫
四	頭全体が途方もなくキーンと張りつめて そこをたわごとの虹が浮かんだり消えたりすることだ	弘也
五	鰻 ^{うなぎ} に よろ 三 ^{さん} に よろ 三 ^{さん} に よろ 黒い筋肉 桶に満ち 一つ掴んで 頭を潰す おかあさん ぼく こんなに遅くなりました	克弘
六	暗い河口で、シラスウナギを掬 ^{すく} っている ペコちゃん ^{ぺこちゃん} とサトちゃん ^{さとちゃん} 人形の間で また減っている 子	弘也
七	きょうも生殖医療外来のまえをよぎる なかで何が行われているのか ひとりよりふたりのほうが世界は深い ことは知りつつ 行く手に 明日のまばゆい瓦礫 ^{がれき} のひろがりを見るばかりだ	喜和夫
八	太くまっ白な停止線で 満ち満ちた夢の句をかく 早生みかん、この世の際に打ち寄せ	ミセイ
九	透明な桜エビが汀を走る 兄妹で走る わたしはおやさいクレヨンで野菜畑の続きを描く あなたのかんだ背中を描く 今日は名字じゃなく名前で呼びたい	弘也
十	ベーグルを分け合ふ仲に犬ぶぐり すみれぐさ終電までを居てくれて ヒヤシンスソファのスペースつい空けぬ	克弘
十一	それまた夏だ 階段をのぼって振りむけば 遠くの向こうでくらげの幽霊 暗い火花と心音がひらき 欲すれば風にも肉体はある	ミセイ
十二	抱いた相手がまづかったよ だつて彼女 海に出て帰るところを失くした木枯らしだったんだ 三日三晩責め立てられ ほらこんなに霜焼け	喜和夫
十三	沖の貨物船は日あたりよし こっちの浜には閉店したコンビニ 感傷さえないのだけれど なぜだかやたらに 光りまくる草、草	ミセイ
十四	回るよ風車 ^{ふうぐるま} 猫が けもの道を行つた 三つの影にわかれて	弘也
十五	望みを捨てて門を通るよ 鼠も鼯 ^{うさぎ} もダンテも芭蕉も ムキムキ男の股をくぐって 旅をするよ 那由多 不可思議 無量数 星なき荒野へ	克弘
十六	数学の時間です 考える人の2乗と地獄の出口との積の9倍 に2倍の考えない人を掛けて6倍の考える人と地獄の出口と の積で割ると3倍の考える人の2乗に等しい すなわち涅槃	喜和夫

十七	――数えるのはだれ？ うなだれたバツタの精霊が囁く 黄色い長髪を引きずりながら 沼の縁をただ回り続けて ――数えるのはだれ？	弘也
十八	バクテリアはよく晴れた日に 先カンブリア代と現代を行き交いわらい 地上全てにばらばら降り来る	ミセイ
十九	私たちはどこから来てどこへ行くのか それはわかりきったこと むしろいまどこにいるかが問題だ 私たちの乗り込む列車に ここではないどこかが 無数のユリカメのように飛来して貼りつくので 視界はふさがれ 思考はかき乱される	喜和夫
二十	小春日は春の陽気な日ではなく 冬のはじめのあたたかな日を言うのですと 教壇に説く俺を蹴れ 鶏として	克弘
二十一	人生のゴールに向かって どんなシフトを決めようか いや俺が言いたいのはガンで死ぬのがいいか 脳をやられて逝くのがいいかってこと 母の遠さのような濃い黄昏のピッチのうえで 高柳さんの服に引ついて紛れこんだのか 創作部屋には窓がない あるのは愛ばかりだ 綿虫 ^{わたむし} よ	弘也
二十二	手のひらの温もりに怯えてもいたかな 今朝の町には白い水蒸気がのつしり垂れこめ 淡い藍色を吐き出す山に 巡る言葉が 妄執となる鬼となる	ミセイ
二十三	姉さんは僕に言った「厨子王 あなた 体を大事に 湯冷めに寝冷え 気を付けない 蚤虱 悪い女に あやしい宗教 消費者金融 ブラック企業――」沼に沈みながら	克弘
二十五	鳥追い唄を口遊 ^{くま} み 今でもあなたを待っている ホーヤレホ ホーヤレホ もう気がふれてもかまわない あなたが見えなくてかまわない	弘也
二十六	海鞘と書いてホヤ 小火と書いてボヤ ついでながら 小心と書いて 台湾語では「注意せよ」 小心間隙！	喜和夫
二十七	食堂のアンケート用紙の裏にこの詞書を書いています 詩はどこにでも書けます シソの葉 砂の上 お札にはやめておこうかな そして 詩は焼けても 詩は消えません ね 野村さん ことの葉はみなはばたくや火事の中	克弘
二十八	ああもうとても追いつかない バナナは飛ぶしバインは駆けるし みんなみんなどつかいっちゃえ	ミセイ
二十九	「蜜の光」が流れる 終わりへ向けて 靴も履かずに 一段飛ばしで上がる階段 隕石が落ちて 倒壊・壊滅 すべて焼かれても 足りる 君の軒が聞こえていれば	克弘
三十	響け光の疾駆や落下や 雲の切れ間よりやつてくるのは 錦の糸運ぶ有翼の人々	ミセイ
三十一	かくて織り織られてゆく私たちの 日々よろこび 日々の苦悩 食卓ではその布で口をぬぐいつづけること いつの日にかその汚れから うつつらと夢見る詩人の顔が浮かび上がってくるだろう	喜和夫
三十二	光る軒先で、雀らが転げている 天気雨が降ってきた あなたはもうすぐ帰ってくる	弘也

2016年しずおか連詩の会 創作現場＆発表会 潜入レポート

11月18日(金)、日本平ホテルでの創作現場にお邪魔しました。創作2日目ということで、野村さん、高貝さん、高柳さん、暁方さんの4人は常に和気あいあいとしたムード。1人が創作している間、ほかの3人が世間話に花を咲かせる場面もあり、こうした会話からも、何かしらの創作のヒントを得ていたに違いありません。なお、創作初日には静岡県立美術館に足を運んだそうで、そのときに感得されたイメージは第14、15、16番に見事に反映されています。



11月17日(木)～19日(土)の3日間で32編の連詩が無事完成。翌日には作者自身による連詩の朗読と解説が行われました。4名の個性豊かな言葉のアーティストたちによる解説はどれも興味深く、その感性の豊かさはもちろん、言葉の持つパワーや可能性に来場者は圧倒されたようです。熱心にメモを取っている人も多く見られました。



2016年しずおか連詩の会「風の千層」の巻

創 作 2016年11月17日(木) グランシップ
2016年11月18日(金) 日本平ホテル
2016年11月19日(土) グランシップ
発表会 2016年11月20日(日) グランシップ

これはいわゆる「詞書」ですね。
克弘：そうですね。俳句は基本的に一句独立ですけど、その句の背景や作ったきっかけなどを加えることがありますして、それを「詞書」あるいは「前書き」といったりします。詞書は、句と区別するために行頭を一字空けにしたり、二字空けにしたりするんですね。ですから、一字下げて書いた1く4行が詞書で、一字空けずに書いた5行目が俳句になっています。

ミセイ：バナナやパイナップルはたいした意味がないので説明するまでもないんですけど(笑)、第27番の行頭の文字を下げるという手法に習って、今度は行頭を一字ずつ下げることで、視覚的に面白くなるよう工夫しました。

克弘：第28番で行頭が下がってきたので、第29番では視覚的にも内容的にも少し上げていく必要を感じまして、行を追うごとに言葉自体が上がっていく感じにしてみました。内容自体は少し悲愴的なんですけど、「君の軒は」に希望とおかしみを持たせたつもりです。

ミセイ：創作3日目にきれいな虹が出まして、それをどうしても書きたかったんです。でも、連詩にはループしてはいけないというルールがあると同って、第4番ですでに「虹」が出てきているので「虹」という言葉を使えずかなり悩みました。前の詩に倒壊・壊滅という言葉があり、さらに、

この連詩は一度地獄にも行っているの(編集部注：第14、15、16番が静岡県立美術館ロダン館の「地獄の門」からインスピレーションを得て作成されていることを指しています)、天国に上げようと思ってこの詩を書きました。3行目は色とりどりの糸を持つ天使が雲の切れ間から橋をかけるようにやってくるという様子をイメージしていて、それで虹を表現したつもりです。

喜和夫：第29番が視覚的にも揚句に向かってクレッシェンドのように高揚している感じがあつて、続く第30番は黙示録を連想させるような壮大な雰囲気を持っています。そこで、第31番は、第30番から「糸」をもたらって織物とキリスト教の聖骸布の伝承を踏まえて作ってみました。日常の何気ない、しかし大切な所作から、詩やそれを作る詩人が生まれるのかもしれない、という希望も込めています。

弘也：前の野村さんの詩で内容的には完結しているような感じがしましたので、映画でエンドロールの後に流れるちょっとした映像のような、そんな余韻を書きました。

喜和夫：とても良い余韻ですね。揚句として素晴らしいと思いました。

MUSIC OF THE HEART

めに、この習慣は欠かせません。僕にとってギターはお守りのような存在なのかもしれませんね。

——リトナーさんは数十年にわたる音楽活動が続いていらっしゃると思いますが、その創作意欲はどこから湧いてくるのでしょうか。

幸運なことに、これまで僕は自分が作った音楽を発表する機会や、尊敬している素晴らしいミュージシャンたちと共演する機会に恵まれていました。そのような数々のありがたい経験は、創作の大きな原動力になってきたと言えるでしょう。

プロのミュージシャンは時々「仕事」として、自分があまり好きではない、信じていない曲も演奏しなければならぬときがあつて、それは、音楽を愛する人間にとって、音楽を愛するがこそ、つらいことなのではないかと思えます。だから僕は、心の底から自分が信じることのできる音楽だけを続けるよう努めてきたのですが、それこそが、創作意欲を絶やさないための秘訣ではないでしょうか。

——世界中の多くの人々が、リトナーさんの生み出した音楽から様々な影響を受けていると思います。ミュージシャンとしての経験を

重ねてきて、音楽にはどんなパワーがあるとお考えでしょうか。

音楽には、人間の精神的な部分をつなげる力があるような気がします。自分たちがどこから来たのか、どこへ行くのか、誰もわからないその答えを導き出してくれるというか……。科学や数学といった切り口から実験的に音楽を作る人もいるけれど、僕自身はもつと、心からあふれて出てくる感情を大切にしたい。音楽は天国から流れてくるものであり、とても自然な、まるで空気のように必要不可欠な存在だと思えますね。



——3月11日にグランシップで開催される「リー・リトナー&ジャパニーズ・フレンズ」では、ヴァイオリ

ンの寺井尚子さん、ドラムスの神保彰さん、サクソスの本田雅人さんなど、第一線で活躍している日本のジャズ・ミュージシャンとセッションされる予定ですね。今回の公演について、聴きどころを教えてください。

共演する日本のミュージシャン3人はもちろん、アメリカから一緒に参加するメルヴィン・ディヴィス（ベース）とベネズエラ出身のオトマロ・ルイーズ（ピアノ・キーボード）も、トップクラスの技術を誇るプレイヤーです。東洋と西洋の異なる音楽文化が心地よく混ざり合うような、面白いコラボレーションになるのではないのでしょうか。

ナオコ（寺井尚子）とはたくさんライブで共演しているし、彼女のアルバムもプロデュースしていて、気心の知れた仲です。アキラ（神保彰）も同じで、先日もういっしょにコンサートで演奏したばかりだし、この2人との共演は慣れているのでリラックスして臨むことができますと思います。マサト（本田雅人）とはこれまであまり接点がなかったけれど、だからこそ同じ舞台上立てる機会ができて嬉しく思います。

昨年発表したアルバム「Twist of Rite」からは、「Pearl」などオリジナルを何曲か演奏できれば良いな、と考

スペシャルインタビュー リー・リトナー 心から湧き出る音楽を届け続けて

2017年3月11日、ギタリスト リー・リトナーさんが登場します！
ジャズ・フュージョン界のレジェンドが日本のトップミュージシャンたちとともに贈る夢のスーパーセッションは、ジャズファンならずとも見逃せません。
そこで今回は、リトナーさんへ音楽に対する思いやライブへの意気込みを伺いました。

——まずは、リトナーさんが人生とともにしてきたギターという楽器の魅力について教えていただけますか。

簡単なようで、お答えするのが難しい質問ですね。たしか僕が6歳か7歳のとき、両親が小さなウクレレを買い与えてくれました。あまりにも昔のことではっきりとは覚えていないのですが（笑）。そして8歳になった頃、ギターを触り始めました。当時、アメリカはロックンロールやフォークミュージックの全盛期。その流行にあわせてギターの人気もだんだんと高まっていて、子どもながらに弦の響きや振動に魅了され、すぐに夢中になりました。その頃からずっと気持ちは変わらず、ギターが好きです。ポピュラーで手に取りやすいけれど、限らない表現の可能性がある楽器だと思っていますね。僕自身もギターを通じてジャンルを越えた様々な音楽を試みてきたつもりだし、これからもずっと、チャレンジを続けていきたいと考えています。ライブ前のウォーミングアップは僕にとって大切なルーティーン。サウンドチェックが終わってから、大体1時間半〜2時間くらいはギターを弾くようにしています。十分に指をほぐし心身ともにリラックスした状態にしておくた

グランシップ プレミアム・ジャズ・ライブ
リー・リトナー&ジャパニーズ・フレンズ
3/11(土)17:00〜 中ホール・大ホール
S席6,200円 A席5,100円
こども・学生1,000円

Lee Ritenour

リー・リトナー

1952年、カリフォルニア生まれ。幼少期よりギターを始め、高校時代からその驚異的なテクニックでLAのスタジオ・シーンで活躍。1976年に初のリーダー・アルバム「ファースト・コース」を発表、更には自らのグループ「ジェントル・ソウツ」を結成し、70年代に巻き起こったフュージョン・ブームの立役者としてシーンを牽引し続けた。1985年、デイヴ・ブルーシンと共にイヴァン・リンスをヴォーカルに迎え録音した「ハーレクイン」でグラミー賞を受賞。今もなお、ジャンルを越えた活躍でファンの期待に応え続けている、日本での人気も高いギタリスト。





名古屋フィルハーモニー交響楽団

今回演奏するのは、指揮者・円光寺雅彦率いる名古屋フィルハーモニー交響楽団。日本のプロオーケストラとして確固たる地位を築いている同楽団は、2016年に創立50周年を迎えました。実力派揃いの円熟した演奏は、クラシック初心者はもちろん、クラシック通にも満足していただけるはず。さらに、今回は特別に、数多くの国際コンクールで上位入賞を果たしているピアニスト・菊地裕介も出演！



指揮者・円光寺雅彦



ピアニスト・菊地裕介

■公演情報

1/25(水)・26(木) 各日10:30～／14:00～

中ホール・大地

全席指定 1,500円(1階または2階席後方)

指揮／円光寺雅彦

ピアノ／菊地裕介

管弦楽／名古屋フィルハーモニー交響楽団

♪ 曲 目 ♪

ヨハン・シュトラウス2世:歌劇「こうもり」序曲

ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調

チャイコフスキー:幻想的序曲「ロミオとジュリエット」

大人のアナタも 中学生とご一緒に。

1階・2階の後方の座席は、一般の方にお手頃な料金で販売しています。1時間程度のコンサートですが、一流の演奏を鑑賞できるので、とてもお得。オーケストラやクラシックコンサートがはじめてという大人のアナタにもおすすめです！



グランシップ中学生のための音楽会

円光寺雅彦指揮 名古屋フィルハーモニー交響楽団

はじめて
だからこそ

本物の音楽を 聴く、楽しむ♪



どうして 「中学生のための」なの？

静岡県の子どもたちに上質な文化・芸術に触れる機会を提供するのもグランシップの大切な役目。「グランシップ中学生のための音楽会」もそのひとつ。「中学生という多感な時期にこそ、“本物”の音楽に触れてほしい」という想いのもと開催しています。



どんなところが “本物”なの？

毎回、一流のオーケストラが演奏を披露するほか、一人ひとりにチケットを用意。劇場でチケットを提示し、指定された座席でコンサートを楽しんでもらいます。

県内の中学生に“本物”の体験を
グランシップでは毎年2日間にわたって「グランシップ中学生のための音楽会」を開催し、県内全域から中学生を招待しています。この取り組みは、静岡県が掲げる「ふじのくに文化振興基本計画」にも重点施策として示されており、今回も、伊東市や浜松市から22校3200名以上の中学生がグランシップに会場し、劇場で一流の演奏を聴く予定です。

来場する生徒の中には、はじめてグランシップに来るという生徒や、オーケストラの演奏を聴くこと自体がはじめて、という生徒が少なくありません。“はじめて”だからこそ、本物に触れてもらいたい。演奏するプロの奏者の真剣なまなざしや驚くほどのパフォーマン스에触れてもらいたい——。そんな願いのもと、この音楽会では、毎回、一流のオーケストラが本気の演奏を披露。また“本物”のコンサートだからこそ、劇場のレセプションスタッフが通常のコンサートと同様に中学生をご案内します。

さらに、音楽だけでなく、演劇や美術、自然科学のすばらしさに触れることも大切で、2016年3月に開館した「ふじのくに地球環境史ミュージアム」へ足を運ぶ学校もあります。

vol.8 何か一つ稽古すれば、ほかの芸にも応用が利くものです。

伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。

岩下尚史

その道の専門家ではない、いわゆる素人の皆さんが、何かの芸の稽古を続けてなさるうちには、生きる上での「コツ」が身に付くと、前回少しだけ触れて置きました。

このコツと云う言葉は、今ではスポーツ競技の練習の過程でも使われていますが、元々は昔の寺方から俗に降りて来たらしく、宗義や教学の骨髓に由来すると聴きました。

これが大陸伝来の伎楽や声明など寺院に於ける芸能の奥義を指すようになったことは自然の流れでした。これが後には骨法などと書いて歌道や書道をはじめ、武道、さらには工芸の細工など、それぐの芸の真髄を会得するための、それこそ心伝心、言うに言われぬ要領のありどころを指すようになったのです。

しかし、そもくを御仏みほとけを讃える寺方の声明や宴曲などから伸びた言葉なのですから、私などはやはり、音楽の修練の場合に違うのが一番しっかりする気が致します。

何の芸でも、詰まるところは呼吸の

グランシップ ハイスクール・ジャズ・ フェスティバル2017

大舞台から生まれる次世代の音を聴く

グランシップでは、幅広い世代の県民が参加できる公演やイベントを実施していますが、この「グランシップハイスクール・ジャズ・フェスティバル」もそのひとつ。県内の高校吹奏楽部6団体がグランシップに集結し、大ホール大ホールの舞台で、プロの音響や照明のもと、演奏を披露します。日頃の部活動では吹奏楽に取り組む学生のみなさんも、このステージを機会にジャズを練習し、音楽の幅を広げることが出来ます。ジャズならではのリズム感やジャズの譜面を取り入れ、互いの音を感じてセッションするのは、楽器の演奏テクニックだけでは意外と難しいもの。グランシップでは、この本番を迎えるために、世界的ビッグバンド「ザ・ブルースカイオーケストラ」のバンドリーダー、奥田「スインギー」英人氏とともに事前に参加校を訪れ、ジャズレッスンを実施しています。プロからの確かなアドバイスを受けることで、ジャズサウンドを生



み出すことができ、練習を積み重ねた本番では、各学校の持ち味を生かして、衣裳や演出にこだわったパフォーマンスを精一杯披露します。

グランシップ ハイスクール・ジャズ・フェスティバル2017

2/4(土) 14:00~17:00

■大ホール・海

全席自由

前売り：400円(当日500円)

※小学生以下無料

前売券発売：12/18(日)〜



恒例の「グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル」の高校生版として人気のこの公演。高校生ならではの瑞々しいパフォーマンスと、一生懸命取り組む姿に、オーディエンスもぎっくと元気をもらえるはず。子どもから大人まで誰もが生の音楽を楽しめる機会です。是非ご家族揃ってどうぞ。

出演：静岡市立清水桜が丘高等学校、静岡県立天竜高等学校・春野校舎・静岡県立佐久間高等学校、静岡県立静岡東高等学校、静岡サレジオ中学校・高等学校「The Musical Spiders-SSJB-」、静岡県立浜松北高等学校、静岡県立科学技術高等学校
招待演奏：早稲田大学ハイソサエティ・オーケストラ

TV・ラジオでコメンテーターとしても活躍。 作家・岩下尚史氏のコラムが好評連載中。



岩下尚史(いわしたひさふみ)……作家、國學院大學客員教授、新橋演舞場(株)退社後、芸者の発生と変遷について著した『芸者論』にて、新人としては異例の第二十回和辻哲郎文化賞受賞し、本格的な作家活動を開始。その他、三島由紀夫の恋人への取材を基に書き下ろした『見出された恋』、『ヒタメン』などの著作がある。また、日本の伝承芸能や古典的な暮らしについてのエッセイ等も多数著している。現在、季刊「美しいキモノ」(ハースト婦人画報社)にて、エッセイ「東都風流(あづまのてふり)」を連載中。TOKYO MX「5時に夢中!」レギュラーコメンテーターをはじめ、テレビやラジオでも活躍中。





高松宮妃のおひなさま展

日本の歳時記や伝統文化に触れてみる

今回で19回目を迎える「高松宮妃のおひなさま展」は春の訪れを感じ、恒例イベントになりました。現在の静岡市で30年間を過ごした第十五代将軍・徳川慶喜公の孫にあたる高松宮妃喜久子さまが昭和5年のご成婚の際にお持ちになった京雛を、ひなまつりの時期にグランシップで展示公開しています。高さ3・6m、幅5・9mの大きさの5段飾りのおひなさまは、京都の著名な人形師・田中弥兵衛により製作され、600点を超える調度品には、一つ一つに徳川家の葵の御紋が施されています。

今回は、その調度品の中から鏡台、衣裳、筆筒、化粧道具などにスポットを当て、より近くでごらんいただけます。鏡台に納められた化粧道具や、筆筒の中の着物など、細かいところまで精巧につくられており、是非間近でご覧いただきたい品ばかりです。他にも、富士宮本町商店街レディース会のみなさんが手づくりした華やかなつるし雛も人気。

期間中の2月19日(日)には、会場内で争のミニコンサートが開催されます。世代を超えて楽しめる、「高松宮妃のおひなさま展」へお気軽にご来場ください。



高松宮妃のおひなさま展

2/11(土・祝)～3/5(日)

10:00～17:00

■6階展示ギャラリー 入場無料 期間中無休



会場内には高松宮殿下、同妃の御外遊の様子を捉えた当時の写真や、外遊先の新聞記事などを展示予定。14カ月にわたり、欧米各国を御外遊されたことは、当時の日本だけでなく訪問先の国々でも大きな話題となりました。おひなさまをご覧いただきながら、喜久子さまの当時のご活躍の様子も知ることが出来る貴重な機会です。

グランシップ寄席

～菊之丞・白酒 春の二人会～

平成落語ブームを牽引する
人気落語家が魅せる噺芸

江戸に100以上の寄席があったと言われる江戸時代の落語の隆盛に勝るとも劣らないと言われる「平成の落語ブーム」。落語家が音楽雑誌やファッション雑誌で特集されたり、寄席もカフェや雑貨屋で気軽に開催されたりと、新しい空気を感ずる機会が増えています。

これまでは、落語を舞台としたテレビドラマや映画の流行りがきっかけとなつて落語ファンが増える事も多くありましたが、最近はそのようなきっかけが無くても、その輪は勢いよくスピードに広がっています。特に若い世代にその広がりは大きく、継続的に寄席を開催しているグランシップでも、若い女性グループやオシャレな男性たちの来場が増え、そのブームの様子が目撃されます。

今回の「グランシップ寄席」は、そんな「平成の落語ブーム」を牽引している人気落語家の二人が登場。端正な顔立ちと柔らかな物腰、独

特の色気と艶っぽい語り口で女性ファンも多い古今亭菊之丞、愛嬌のあるキャラクターと滑らかな語り口で客席を魅了する桃月庵白酒。明るく華やかな二人が、心地よい落語を聞かせます。

はじめての方も、まずは生で落語を聞くのが一番。噺家のテクニクで、あつという間に江戸の世界に引き込まれ、会場一体になって笑ったり、感動したりと、ぬくもりのある空間がうまれます。落語は小説などとは異なり、登場人物が会話中心で展開していくため、噺の内容が分かりやすいのも魅力。高座にある一枚の座布団に座り、扇子と手ぬぐいを使いながら全ての登場人物を演じる落語家の息づかいや表情を間近で感じ、どつぷりと落語の世界にひたってみませんか。

グランシップ寄席 ～菊之丞・白酒 春の二人会～

3/18(土)

14:00開演

■6階交流ホール

全席指定

一般3,500円

こども・学生1,000円

知っておきたい、落語を盛り上げる音楽のハナシ

寄席と音楽は切っても切れない関係にあるのをご存じですか？ たとえば、芸人が高座へ上がるとき、BGMとして三味線や太鼓が演奏されます。これを「出囃子」といい、芸人それぞれに専用の曲があります。また、寄席の開場時、開演前、終演時には太鼓が叩かれます。それぞれ「一番太鼓」「二番太鼓」「追い出し」と呼ばれ、一番太鼓は「ドンドンドンと来い」、二番太鼓は「お多福来い来い」、追い出しは「出てけ出てけ出てけ」と聞こえるように叩いているそう。寄席に行ったら音楽にもぜひ耳を傾けてみてください。



桃月庵白酒



古今亭菊之丞



2017年1月-2月-3月 開催

GRANSHIP イベントカレンダー

2/1 [水]

イベント

平成28年度
第29回静岡県中部
高等学校定時制通信制
生徒合同文化祭

■6階展示ギャラリー ■10:00～19:30
■中ホール・大地 ■18:20～20:00
静岡県立清水東高等学校定時制
tel.054-366-7030

2/4 [土]

音楽

本誌P12の詳細をチェック!

GRANSHIP ハイスクール・
ジャズ・フェスティバル2017

■大ホール・海 ■14:00～17:00
■前売400円(当日500円)※小学生以下無料
県内の高校吹奏楽部6団体がグランプリを目指してジャズナンバーを披露。フレッシュで瑞々しい演奏をお楽しみいただけます。
出場校:静岡県立清水桜が丘高等学校、静岡県立天竜高等学校・春野校舎・静岡県立佐久間高等学校、静岡県立静岡東高等学校、静岡サレジオ中学校・高等学校"The Musical Spiders -SSJB-"、静岡県立浜松北高等学校、静岡県立科学技術高等学校
GRANSHIPチケットセンター tel.054-289-9000



2/4 [土]

講演会

WJOG市民公開講座
「知ってほしい
肺がん治療の今と将来」

■11階会議ホール・風 ■13:00～16:00
認定特定非営利活動法人
西日本がん研究機構(WJOG)
tel.06-6633-7400

GRANSHIPショーウインドウ

体内で呼吸する細胞。そんな中に顕微鏡を覗くような感覚で入り体感したい。目に見えない小さな何かが体中に入り込むだけで病気になってしまうこともある。私たちの呼吸している空気の中には何が含まれているのだろうか。作品はポリ塩化ビニールを溶着し制作しています。送風機によって加圧することで立ち上がり、電源を切ることによって減圧し萎みます。
GRANSHIPアートコンペ2016
GRANSHIP賞受賞作品「呼吸」
作者／三上俊希 展示期間／2017年3月5日まで

1/25 [水]・26 [木]

音楽

GRANSHIP主催事業 本誌P10-11の詳細をチェック!

GRANSHIP中学生のための音楽会
円光寺雅彦指揮
名古屋フィルハーモニー交響楽団

■中ホール・大地 ■各日10:30～／14:00～
■1,500円
県内の中学生と一緒に本格的なオーケストラ演奏を聴く1時間程度のコンサート。はじめての方もお気軽に。
【曲目】
ヨハン・シュトラウス2世:歌劇「こうもり」序曲
ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調
チャイコフスキー:幻想的序曲「ロミオとジュリエット」
GRANSHIPチケットセンター tel.054-289-9000



円光寺雅彦

菊地裕介

1/25 [水]

講演会

平成28年度ふじのくに
花の都しずおか県民大会

■11階会議ホール・風 ■13:45～16:10
静岡県経済産業部農芸振興課 tel.054-221-2679

1/27 [金]～29 [日]

イベント

静岡デザイン専門学校
デザイン・ア・ラ・モード2017

■6階展示ギャラリー 他
■10:00～19:00(29日17:00)
静岡デザイン専門学校 tel.054-252-1766

1/28 [土]

講演会

第17回静岡市子育て講演会
“お弁当の日”が生み出す“子育ての時間”

講師:竹下和男氏
■11階会議ホール・風 ■13:30～15:00
静岡市子ども未来課 tel.054-354-2604

1/28 [土]

音楽

第36回静岡音楽祭

■大ホール・海 ■14:00～16:30
静岡県防衛協会 tel.054-261-6644

1/28 [土]

講演会

GRANSHIP主催事業

【GRANSHIP出前公演】
「人形浄瑠璃 文楽」事前レクチャー
山川静夫のここがみどころ・ききどころ
～文楽人形遣いにせまる～
■森町文化会館小ホール ■14:00～
■一般1,000円 こども・学生500円
3/12に森町文化会館にて開催される「GRANSHIP出前公演『人形浄瑠璃 文楽』」を前に、元NHKアナウンサーで伝統芸能に造詣が深い山川静夫さんが、文楽の解説や楽しみ方を分かりやすく紹介します。ゲストには、人形遣い・吉田一輔さんをお招きし、実演を交えながら人形の仕組みなどを解説します。 森町文化会館 tel.0538-85-1111

1/21 [土]

講演会

静岡県立総合病院
がん医療公開講座(第1回)

■11階会議ホール・風 ■14:00～16:30
静岡県立総合病院 tel.054-247-6111

1/22 [日]

講演会

GRANSHIP主催事業

GRANSHIP「しずおかの文化新書」講演会
「井伊直虎とその時代」

■2階映像ホール ■14:00～
■500円 ※事前申込制
「しずおかの文化新書『湖の雄 井伊氏』」に関する講演会。2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」で注目を集める歴史研究家・小和田泰経氏が本書の内容を踏まえて解説します。当時の城や甲冑についての説明もあり、今注目のテーマでお届けします。
講師:小和田泰経(歴史研究家)
コーディネーター:八木洋行
(「しずおかの文化新書」編集長)
GRANSHIPチケットセンター tel.054-289-9000

1/22 [日]

舞台

GRANSHIP静岡能

■中ホール・大地 ■14:00～
■一般5,100円 こども・学生1,000円 中高生ご招待
新春恒例の本格的な能楽公演。能の“紅無”を象徴する「隅田川」と、変化に富んだ場面展開が魅力の「小鍛冶」、狂言「鈍太郎」を上演します。公演当日、お着物でご来場の方にプレゼントをご用意。御殿場、裾野、三島発のバスツアーもご用意しています。
出演:山階彌右衛門、観世芳伸 他
GRANSHIPチケットセンター tel.054-289-9000



撮影:前島吉裕



1/14 [土]

就職

2017めざせ!
海技者セミナーin静岡

■10階 ■13:00～16:30
国土交通省中部運輸局船員労政課
tel.052-952-8028

1/15 [日]

舞台

GRANSHIP共催事業

【GRANSHIP提携公演事業】
「今、伝えたい…」

■中ホール・大地 ■16:00～
■2,000円
静岡県現代舞踊協会 tel.0538-32-5763

1/15 [日]

就職

しごとのかんづめフェアin静岡

■大ホール・海 ■11:30～17:00
(※静岡新聞社就職ガイド係 tel.054-284-9018)

1/16 [月]

その他

静岡大学
アートマネジメント力育成事業
「ワークショップ100」

■6階交流ホール 他 ■13:00～16:00
静岡大学教育学部アートマネジメント力育成事業事務局
tel.054-238-4876

1/21 [土]～25 [水]

展示

静岡大学教育学部
美術科卒業制作展

■6階展示ギャラリー ■10:00～18:00(25日17:00)
静岡大学教育学部美術教育講座 tel.054-237-9540

1/21 [土]

講演会

オール静岡!
学校と地域の連携推進講座

講師:日本初公認スポーツ栄養士 こばたてるみ氏
■6階交流ホール ■13:45～15:40
静岡県総合教育センター tel.0537-24-9715

えほんのひろば

GRANSHIP県立図書館コーナー「えほんのひろば」は、約5,000冊の絵本をカーペットに座ってゆっくりご覧いただけます。ここにある絵本の貸出・返却・予約のほか、県立中央図書館の本・雑誌や、DVD・朗読CDなどの予約・貸出・返却もできます。また、毎週木曜日の10:30～と15:00～、第3日曜の10:30～は「おはなし会」を、毎週火曜日の10:30～は「0歳からのおはなし会」を行っています。是非ご参加ください。

1月中旬までの展示予定 トリと十二支の絵本

1月中旬からの展示予定 鬼と豆の絵本

2月上旬からの展示予定 兄弟姉妹の絵本

1/10 [火]

講演会

広がれ、こども食堂の輪!
全国ツアーin静岡

■11階会議ホール・風 ■13:00～16:00
(福)静岡県社会福祉協議会 tel.054-254-5224

1/11 [水]

イベント

ふじのくに
総合食品開発展2017

■大ホール・海 ■9:40～17:00
静岡県経済産業部マーケティング課
tel.054-221-2703

1/13 [金]

音楽

GRANSHIP共催事業

静岡ガスPRESENTS
GRANSHIP&静響
ニューイヤーコンサート

■中ホール・大地 ■14:00～／19:00～
■2,000円 ※受付終了しました。
新春の幕開けを華々しく彩る恒例のニューイヤーコンサート。世界の歌姫として長きにわたり第一線で活躍するソプラノ歌手の中丸三千繪をスペシャルゲストに迎え、オペラアリアの名曲をたっぷりと披露します。



GRANSHIPチケットセンター tel.054-289-9000

1/13 [金]～15 [日]

展示

静岡大学教育学部
書文化専攻卒業書展

■6階展示ギャラリー ■9:00～16:00(15日15:30)
静岡大学教育学部書文化専攻
tel.080-3655-6591(藤川)

1/1 [日・祝]

イベント

GRANSHIP主催事業

GRANSHIP初日の出
特別開放

■10階展望ロビー ■6:30～
10階展望ロビーから初日の出を眺めませんか。あたたかいコーヒーやおしるこをご用意しています。(先着順)
(公財)静岡県文化財団総務課 tel.054-203-5710



1/3 [火]

その他

2017静岡市成人式

■大ホール・海 ■14:00～15:30
静岡市青少年育成課(静岡市成人式実行委員会事務局)
tel.054-354-2614

1/4 [水]

就職

静岡新聞 新春プレミアム
就活準備セミナー

■10階 他 ■11:00～16:00(予定)
(※静岡新聞社就職ガイド係 tel.054-284-9018)

1/8 [日]

舞台

ダンスパーティー
inGRANSHIP

■大ホール・海 ■13:30～16:30
■1,000円
静岡市ダンススポーツ連盟 tel.080-6909-3128

1/8 [日]・9 [月・祝]

展示

第1回
TEAM.DEADSTOCKERS
模型展示会

■6階展示ギャラリー3
■8日11:00～19:00 9日10:00～16:00
TEAM.DEADSTOCKERS
tel.090-8070-0582(太田)

1/9 [月・祝]

音楽

静岡駿府LC主催
CN35周年記念
スクールバンド演奏会

■中ホール・大地 ■13:00～16:00
静岡駿府ライオンズクラブ tel.054-272-8781

3/19【日】 グランシップ共催事業 舞 台

【グランシップ提携公演】
琉神フェスティバル
Chikara 2017 in Shizuoka
■中ホール・大地 ■14:30～
■一般4,000円 高校生以下1,700円
沖縄の伝統的な舞踊・音楽を踏まえつつ斬新なものを取り入れた新たなパフォーマンスステージ。琉神を中心に各出演者と創り上げるフェスティバル。
Office Ryujin tel.054-689-3607



3/20【月・祝】 舞 台

リュミエル
新体操演技発表会
■大ホール・海 ■14:00～17:00
リュミエル tel.090-8731-6831

3/20【月・祝】 音 楽

静岡県立科学技術高校
吹奏楽部 第8回定期演奏会
■中ホール・大地 ■18:00～20:30
■前売り500円、当日600円
静岡県立科学技術高等学校 tel.054-267-1100

3/26【日】 イベント

きのいい羊達創立25周年
記念イベント あそぼうフェスタin静岡
■大ホール・海 ■10:30～15:30
(侘)きのいい羊達 tel.054-368-5536

3/28【火】 就 職

シズオカの会社発見！
合同会社説明会
■大ホール・海 ■11:00～18:00
(株)就職情報センター tel.054-281-5566

3/31【金】 音 楽

静岡高校吹奏楽団
第39回定期演奏会
■中ホール・大地 ■18:00～20:30
静岡県立静岡高等学校 吹奏楽部
tel.054-245-0567

グランシップ主催事業では、ボランティアスタッフによる託児サービスをご利用いただけます



ご利用希望の方は、公演1週間前までに（公財）静岡県文化財団事業課までご連絡下さい。
TEL.054-203-5714

※お預かりできるのは、2歳以上の未就学児のお子様に限ります。
※イベントによっては、託児サービスが利用できない場合もございます。

3/12【日】 グランシップ主催事業 舞 台

【グランシップ出前公演】
人形浄瑠璃 文楽
■森町文化会館大ホール ■14:00～ 中学生ご招待
■一般3,600円 こども・学生1,000円
「人形浄瑠璃 文楽」をはじめて森町で開催。はじめての方でもお楽しみいただけるよう、開演前のあらすじ解説や字幕表示もご用意しています。
演目:「妹背山婦女庭訓」
～杉酒屋の段 ～道行恋芋環 ～姫戻りの段～金殿の段
森町文化会館
tel.0538-85-1111 撮影：青木信二

3/18【±】 グランシップ主催事業 舞 台

本誌P15の詳細をチェック！ 中学生ご招待
グランシップ寄席
～菊之丞・白酒 春の二人会～
■6階交流ホール ■14:00～
■一般3,500円 こども・学生1,000円
幅広い世代からの人気、実力も高い古今亭菊之丞と桃月庵白酒。春らしい華やかな寄席をお楽しみいただけます。
出演:古今亭菊之丞、桃月庵白酒



古今亭菊之丞



桃月庵白酒

3/19【日】・**20**【月・祝】 講演会

グランシップ主催事業
本誌P23の詳細をチェック！
グランシップ文化講座
『人口問題から未来を発明する』
人口流出全国第2位の静岡県の問題を取り上げる全3回の連続講座。
■9階910会議室
■1回につき 一般500円 学生300円
※高校生以下無料
3回通し券 一般1,200円 学生700円

第1回「人口問題の由来と本質」

3/19(日) ■10:00～
講師: 鬼頭 宏(静岡県立大学学長)

第2回「パートナーシップ・親子からみた人口問題」

3/19(日) ■13:30～
講師: 白井 千晶(静岡大学人文社会科学部教授)

第3回「人口移動の現状と将来の地域社会」

3/20(月・祝) ■13:30～
講師: 岸 昭雄(静岡県立大学経営情報学部講師)
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/5【日】 就 職

静岡新聞
合同企業ガイダンス
■大ホール・海 ■12:00～17:00
(株)静岡新聞社就職ガイド係
tel.054-284-9018

3/5【日】 就 職

マイナビ
看護学生就職セミナー
■10階1001会議室 他 ■13:00～17:00
(株)マイナビ 静岡支社 tel.054-275-3200

3/11【±】 音 楽

本誌P8-9のインタビューをチェック！ 中学生ご招待
リー・リトナー&ジャパニーズ・フレンズ
■中ホール・大地 ■17:00～
■S席6,200円 A席5,100円 こども・学生1,000円
グラミー賞受賞のギタリスト、リー・リトナーと日本のジャズ・ミュージシャンたちが贈るスーパーセッション！
【出演】
リー・リトナー(ギター) 寺井尚子(ヴァイオリン)
神保 彰(ドラムス) 本田雅人(サクソ)
オトマロ・ルイーズ(ピアノ・キーボード)
メルヴィン・ディヴィス(ベース)



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/11【±】 就 職

ナース専科就職ナビ
合同就職説明会2018
■大ホール・海 ■12:00～16:00
(株)エス・エム・エスカリア tel.0120-979-500

3/12【日】 就 職

マイナビ就職セミナー
■大ホール・海 他 ■13:00～17:00
(株)マイナビ 静岡支社 tel.054-275-3200

2/23【木】 グランシップ主催事業 音 楽

ガリアーノ×ピアソラ
オーケストラ・アンサンブル金沢
■中ホール・大地 ■19:00～
■S席5,100円
A席4,100円
こども・学生1,000円
前回大好評を博したガリアーノが再登場！日本屈指のオーケストラとの共演で、ピアソラの名曲を中心にクラシック・ジャズの枠を超えたステージをお届けします。
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



2/26【日】 グランシップ共催事業 音 楽

【ミュージコ・グランシップ共同事業】
大井川文化会館ミュージコ
開館25周年記念事業
鈴木裕子と静岡の仲間たち・フレッシュコンサート
■大井川文化会館ミュージコ ■14:00～
■一般1,000円 高校生以下500円
やいづ親善大使の二胡奏者・鈴木裕子と共に、グランシップアウトリーチ登録アーティストのメンバーたちがフレッシュな演奏をお届けします。中国、日本、西洋の楽器たちの織りなすハーモニーをお楽しみください。
焼津市大井川文化会館ミュージコ
tel.054-622-8811



2/26【日】 音 楽

シンフォニエッタ 静岡
第47回定期公演
■中ホール・大地 ■14:00～16:00
■3,500円～5,000円 ※早割あり
シンフォニエッタ 静岡 tel.054-204-7778

2/28【火】 その他

2017年3・1ピキニデー
日本原水協全国集会
■中ホール・大地 ■13:00～15:00
原水爆禁止日本協議会 tel.03-5842-6031

3/4【±】 講演会

第30回地域文化活動賞 表彰式・ふじのくに文化情報フォーラム2017
■11階会議ホール・風 ■14:00～ ■入場無料
県内でひたむきに活動している文化団体を表彰する第30回地域文化活動賞の表彰式とフォーラムを開催。
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



2/15【水】 就 職

JOBプレゼンツ
転職・就職希望者のための
合同企業面談会シゴトフェア
■大ホール・海 ■14:00～20:00
(株)アルバイタイムス tel.054-653-3383

2/17【金】 講演会

静岡アジアフォーラム
ーインド・日本・韓国・中国から
みたアジア的価値ー
■11階会議ホール・風
■13:15～16:15 ※事前申込制
静岡県文化・観光部大学課 tel.054-221-3557

2/18【±】 講演会

グランシップ「しずおかの文化新書」講演会
「雲の上の研究所
～富士山測候所の魅力と価値～」
■2階映像ホール ■14:00～
■500円 ※事前申込制

静岡県文化財団が発行する「しずおかの文化新書『日本一の高所・富士山頂は宝の山』」に関する講演会。大気が地上の影響を受けない自由対流圏に属する富士山頂は、大気化学、宇宙線・雷、高所医学などあらゆる研究・教育において非常に有効な観測地点として注目を集めています。科学研究や教育の立場からその恩恵を語ります。
講師:土屋由紀子
コーディネーター:八木洋行
(「しずおかの文化新書」編集長)
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



2/18【±】 講演会

静岡県立総合病院
がん医療公開講座(第2回)
■11階会議ホール・風 ■14:00～16:30
静岡県立総合病院 tel.054-247-6111

2/19【日】 その他

ふじのくに芸術祭春の祭典
2016授賞式・2017総合開会式
■中ホール・大地 ■13:30～17:00(予定)
静岡県文化・観光部文化政策課 tel.054-221-2254

2/20【月】 就 職

静岡新聞就活準備セミナー
■大ホール・海 他 ■11:00～16:00(予定)
(株)静岡新聞社就職ガイド係
tel.054-284-9018

2/5【日】 音 楽

2017カワイこどもおんがくかい
■中ホール・大地 ■13:15～16:30(予定)
カワイ音楽教室静岡事務所 tel.054-273-8910

2/11【土・祝】～**3/5**【日】 展示

本誌P14の詳細をチェック！ グランシップ主催事業
高松宮妃のおひなさま展
■6階展示ギャラリー
■10:00～17:00 ■入場無料

徳川慶喜公の孫にあたられる高松宮妃喜久子さまが昭和5年のご成婚の際にお持ちになった京雛を年に1度のお披露目として展示。ひとつひとつに葵の御紋が施され、細部まで詳細に作られた600点にわたる調度品の数々も見応えがあります。日本の歳時記や伝統文化に触れる機会として、世代を超えてお楽しみいただけます。
2/19【日】には
箏のミニコンサートを実施。



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

2/11【土・祝】・**12**【日】 講演会

国際シンポジウム:人類世の到来
ー自然史と文化史
International Symposium:
Creating the Anthropocene:
Natural and Cultural Histories
■11階会議ホール・風
■11日10:00～17:00、12日10:00～12:30
ふじのくに地球環境史ミュージアム tel.054-260-7111

2/11【土・祝】・**12**【日】 舞 台

第4回静岡県民ミュージカル
「オズの魔法使い」
■中ホール・大地
■11日18:30～12日11:00～／14:30～／18:00～
■指定席2,500円 自由席2,000円
静岡県民ミュージカル実行委員会 tel.0466-28-6400

2/13【月】 就 職

シズオカの会社発見！
業界研究セミナー
■大ホール・海 ■11:00～18:00
(株)就職情報センター tel.054-281-5566

2/14【火】 就 職

障害者就職面接会
■大ホール・海 ■13:00～16:00
ハローワーク静岡 tel.054-238-8603

2/14【火】 その他

平成28年度
「体カアップコンテストしずおか」表彰式
■11階会議ホール・風 ■13:30～14:30
静岡県教育委員会健康体育課 tel.054-221-3174

グランシップ 静岡の魅力 第9回 フォトコンテスト2017

まもなく
募集開始!

グランシップでは、静岡県における写真文化の更なる発展と振興、
また静岡県の魅力を日本全国、世界に発信するためにフォトコンテストを開催します。

前回の
作品



最優秀賞

「ノリ棚」鈴木邦明



「静岡の魅力」部門大賞

「雛まつり」伴野雄三



「モノクロ」部門大賞

「落馬」村松克則



「写真の魅力」部門大賞

「ファミリー」松島真知子

【募集部門】

①静岡の魅力部門(県内外から「静岡の魅力」を発見)…静岡県内外で撮影した静岡県の魅力を伝える風景、名所、自然などを撮影した写真。

②写真の魅力部門(自由部門)…カメラを使用して撮影したあらゆる写真、写真表現の可能性に挑戦する作品。

③モノクロ部門…モノクロ写真の魅力にせまる作品。

【賞金及び賞品】

最優秀賞(静岡県知事賞)	1点	賞金30万円
大竹省二賞	1点	賞金20万円
部門大賞	3点(部門で各1点)	賞金15万円
優秀賞	3点(部門で各1点)	賞金 5万円
特選	5点(①②各2点、③1点)	賞金 3万円

入賞/賞金5千円 佳作/記念品

グランシップ学生賞(学生最優秀賞) 1点/記念品(3万円相当)

※2016年11月現在の情報です。内容等予告なく変更になる場合があります。

【応募条件】

作品は全てプリント応募とする。作品サイズは四つ切またはA4。単写真に限る。応募作品は自作で未発表のものに限る。

額装、パネル貼り及び台紙貼り作品は不可。デジタル作品可。①③部門は画像加工不可。

※画像加工とは実在のものを消したり、無いものを描いたりしたものや色を変えたもの、コラージュ等の加工を指す。

但し、トリミング、自然な濃度や色味の調整はこれに該当しない。

【応募料】一般/1作品につき2,000円・学生(小中高生、専門学校、短大、大学、大学院生、かつ28歳以下)/無料

【応募方法】応募は郵送のみの受付とする。作品ごとに指定の「応募票」に必要事項を記入の上、作品の裏面に貼付。

なお応募票は、グランシップホームページからもダウンロード可。※2017年1月より応募受付開始予定

【応募締切】2017年8月31日 ※当日消印有効

【お問い合わせ先】グランシップ フォトコンテスト係 TEL.054-203-5714

グランシップを飛び出して、きみ住むまちへ!アウトリーチ活動

グランシップ
子どもアート体験!
学校プログラム

たくさん子どもたちに
本物の芸術をお届けする、
アウトリーチ活動を実施しています。

STAGE

『六代目宝井馬琴監修
講談教室』

2016.9.12(月) 森町立三倉小学校 3~6年生 11名

講師:宝井琴星、宝井琴柑(講談師)

※平成28年度は、森町立三倉小学校の他に、御殿場市立富士岡小学校、
焼津市立和田小学校、静岡市立長田西小学校でも開催しました。



グランシップが一流の演者とともに
県内各地へ出向くアウトリーチ活動。
今回は、平成15年から開催している
「講談教室」を、森町立三倉小学校で
開催しました。同校は複式学級で、3
~6年生11名が参加。落語は知って
いても、講談はどんなものか分からな
い皆さんに、講談ではどんな道具を使
うのか、座布団には置く向きが決まっ
ていて、どんな意味が込められている
のかなどをお話してから、宝井琴柑
さんが講談の一節を実演で披露。張
扇で釈台を「パン!パン!」と叩く音
にびっくりしながらも、子どもたちは
言葉をよく聞いて、お話を理解してい
るようでした。子どもたち一人ひと
りに、講談の特徴である張扇を手を取
ってもらい、講談師の先生にならって大
きな声でテキストを読む体験をしま
した。難しい言葉もありましたが、役
割分担をしながら、誰が大きな声を
だしているか競うほど、一生懸命に取
り組みました。最後は、宝井琴星さん
の講談『村越茂助左七文字の由来』
を聞き、プロのパフォーマンスに大笑い
しながら楽しみました。



みんなの前に出て、釈台を叩きながら声を出す
姿は、すっかり講談師の気分。子どもたちは、
「講談」という話芸を通して、日本語のリズム感、
声を出す楽しさを体感したようです。

講談は難しいかと不安でし
たが、とても分かりやすく、
子どもたちも理解していま
した。(先生)

一人で何人もの声を出すのが
すごいと思いました。(児童)

日本の話芸、プロの声を
生で聞く事ができたのは
貴重な体験でした。(先生)



大人になったら、講談を聞
きに行ってみたいと思いま
した。(児童)





ふじのくに文化情報センター通信 vol.7

グランシップ文化講座『人口問題から未来を発明する』

ふじのくに文化情報センターがおくる2日間連続の文化講座。わたしたちの暮らす静岡県の人口問題と、それを取り巻く課題を学びます。「人口について知ることは、社会そのものについて知ること」がキーワード。漠然とした不安を案じるよりも、「どんな未来にしたいか」を、静岡県立大学の鬼頭学長と考えましょう。またランチセッション（希望者先着順）では、講師と直接お話しできます。進学、就職を控えた学生の皆さんもご参加ください。

第1回 「人口問題の由来と本質」

講師：鬼頭 宏（静岡県立大学学長）
3/19(日) 10:00～

ランチセッション（希望者のみ先着順）

第2回 「パートナーシップ・親子からみた人口問題」

講師：白井 千晶（静岡大学人文社会科学部教授）
3/19(日) 13:30～

第3回 「人口移動の現状と将来の地域社会」

講師：岸 昭雄（静岡県立大学経営情報学部講師）
3/20(月・祝) 13:30～

会場／グランシップ 9階910会議室
参加料／1回につき 一般500円 学生300円 ※高校生以下無料
3回通し券 一般1,200円 学生700円
対象／人口問題に関心のある方、学生歓迎
お申込み・お問い合わせ
グランシップチケットセンター 054-289-9000

後援：ムセイオン静岡

「センター長只今 思案中」その7

やっぱり対話だとおもう

本音を言えば、「ネットワーク」とか「人脈」という言葉がニガテです。実は自分の中では、特別な場合を除いて使用禁止語になっています。時代の中で言葉が消費され、何か薄っぺらになってしまったように思えるのです。ですから、それを主な目的とした異業種交流をうたう場にはまったく興味が湧かず、よって出掛けて行くこともほぼありません。参加したらしくて、新しい人に出会えて楽しいのですが、名刺だけ交換して何かした気になってしまふのはとても空しいものです（わたしはチャンスを生かせないからかもしれません）。それは、SNS上で、「いいね！」を増やすことに時間を費やして、何かをした気になってしまふのと似ています。そもそも「ともだち」が何千人もいて、いいね！が100の場合と、1000人とかしか繋がっていないけれども、いいね！が80とでは、果たしてどちらに価値があるのでしょうか。



ふじのくに文化情報センター長
平野雅彦

「思考の地平」に今までにない風景が広がる可能性があるからです。登壇者の対話を聴いている人々にもそれが共振し、共感を生むのです。では、そんな空気をつくるにはどうしたらいいのか。どんな仕掛けやしつらえが必要なのか。もしかしたら参加者の中に、会場に足を運んでもらう前から何かが始まっているような仕掛けがなければならぬと考えたりもするのです。

わたしは、いろいろな場で話をする機会を頂くのですが、最近肌で感じるのは、わたしの話を聴いてくださった方々が、たんにわたしに質問するだけではなく、話の内容をきっかけに参加者同士、話をしたいという人がとても増えてきたことです。つまりみんなが求めているのは対話です。話したいのです。なにやら小細工するよりも、話しやすい環境とその時間を設けることの方が大切なことかもしれません。それはたんに名刺交換の場でないことは確かです。

ささえる、つなげる、創造する



ふじのくに文化情報センター
FUJINOKUNI Art / Culture INFORMATION CENTER

3/4(土)「ふじのくに文化情報フォーラム」を開催します。詳細はホームページ等で順次発表。

グランシップ1階ラウンジ
[TEL] 054-203-5721 [FAX] 054-203-5716
[E-MAIL] info@shizu-bunka.com



グランシップ主催公演・イベントが、よりオトクになる！

グランシップ友の会 会員募集中！

会費
無料

グランシップ友の会は、ここ静岡県で、世界の上質で多彩な文化芸術に気軽に親しめるよう、様々なサービスを提供します。



グランシップ友の会会員だけの特別な情報や特典をお届けします。

特典
1

ポイント積立による 割引サービス

グランシップ主催公演のチケットをご購入いただくと、購入額の5%相当のポイントがつきます。

チケット割引販売

積立ポイントは100ポイント単位（1ポイント＝1円）で次のチケット購入分よりご利用いただけます。

グランシップ1階レストラン・カフェでの割引

積立ポイントは500ポイント単位（1ポイント＝1円）でグランシップ1階レストラン・カフェの食券に引換えられます。

※一部対象外公演あり
※他の割引サービスとの併用はできません。
（こども・学生券、セット券、ペア券、親子券、通し券、直前割引等の割引）
※ポイント有効期限は、最後にチケット購入があった日から2年間。



グランシップチケットセンター窓口で
グランシップ1階レストラン・カフェの食事券500円に
ポイントを引換え！
鑑賞の前後に、お食事やお茶を楽しむのもおすすめ。

特典
2

チケット先行予約・購入

グランシップ主催公演のチケットを一般発売に先駆け、優先的にご予約・ご購入いただけます。無料の会員登録で、便利なWEBでのチケット予約も可能です。
※一部対象外公演あり

特典
3

催事情報のご案内

グランシップの公演やイベントを掲載した情報誌やチラシをお届けします。

特典
4

提携店での割引サービス

会員証の提示により、各提携店のサービスが会員特別価格でご利用いただけます。

- 日本平ホテル
- ホテルセンチュリー静岡
- ホテルアソシア静岡
- スマイルホテル（旧ホテルアーバントイン静岡）
- 静岡ホテル時之栖
- 三交イン 静岡北口
- 静鉄ホテルプレジオ
- 駿府天然温泉「天神の湯」
- すみやグッディ（楽器・楽器）
- 静岡県立美術館
- ボーラ美術館
- MOA美術館
- 駿府博物館

ご入会方法 専用の申込書、WEBフォームからお申込みができます。申込書はグランシップチケットセンター窓口または郵送にて受け付けています。

入会受付
お問合せ
グランシップチケットセンター
TEL 054-289-9000（営業時間10:00～18:30）
〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4
FAX 054-203-5716 E-MAIL info@granship.or.jp

※グランシップWEBサイト上に記載の「グランシップ友の会」個人会員規約をご確認の上お申し込みください。

グランシップ友の会 法人会員

〈特別法人会員〉
静岡ガス株式会社 鈴与株式会社 株式会社静岡新聞社 静岡放送株式会社

〈一般法人会員〉
[Media]
株式会社テレビ静岡 静岡エフエム放送株式会社 株式会社創碧社 株式会社静岡第一テレビ

[Manufacture]
株式会社タミヤ コカ・コーリーストジャパン株式会社 株式会社伊藤園 ダイードロリンコ株式会社
丸茂電機株式会社 SUS株式会社

[Service]
劇団ひまわり 株式会社ステージ・ループ 静岡県ビルメンテナンス協同組合 静岡信用金庫 株式会社ピーエーシー
株式会社イノウエテクニカ 株式会社日本平ホテル 株式会社コアズ 株式会社望月商事 学校法人常葉学園
株式会社東京企画装飾静岡 株式会社ニッセイコム 株式会社朝日通商

地域の活性化に取り組む文化施設

さあ、行こう！あなたの街で文化の幕開け！

アートもカルチャーも、決して遠いところにはありません。身近な施設にも文化芸術に触れるチャンスがありますよ。

掛川市生涯学習センター

掛川市

【住所】〒436-0068 掛川市御所原17-1
【TEL】0537-24-7777 【FAX】0537-24-7772
【URL】<http://k-kousya.or.jp/center/>
指定管理者：公益財団法人掛川市生涯学習振興公社



掛川市生涯学習センターは、多目的複合施設で1,000人規模のホールを備えています。市内の地域生涯学習センターの総本山として主要拠点となっており、夢と希望あふれる未来に向かって生涯学習が推進されています。

1/29(日)9:30～ 掛川名作映画祭
邦画の巨匠・溝口健二監督のヴェネチア国際映画祭銀獅子賞受賞作品を含む代表作4本を一挙上映!!

牧之原市相良総合センター い〜ら

牧之原市

【住所】〒421-0524 牧之原市須々木140
【TEL】0548-52-5544 【FAX】0548-52-5585
【URL】<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/bg/map/ent/3144.html>
牧之原市直営



「い〜ら」は、この地方の方言で「いいでしょ?」を意味します。500席のホールは、舞台と客席との一体感が生まれる楕円形で、美しい音楽の音色を効果的に客席に伝える素晴らしい音響反射板をご用意しています。

3/15(水)19:00～ ゆずり葉の季節(はる)
劇団たんぽぽ創立70周年記念公演の第2弾。
在宅医療をテーマに家族の絆を描く。

伊豆の国市長岡総合会館 アクシスカつらぎ

伊豆の国市

【住所】〒410-2201 伊豆の国市古奈255
【TEL】055-948-0225 【FAX】055-948-0855
【URL】<http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/bunka/manabi/shisetsu/axis/index.html>
伊豆の国市直営



アクシスとは拠点という意味であり、まさに伊豆の国市の文化・芸術の中心となっている施設です。大ホールは1,007席、多目的ホール400席、他に会議室が3部屋ある多目的施設です。コンサートや演劇、講演会、研修等の会場として用途に合わせてご利用いただけます。

2/5(日)14:00～ 伊豆の国新春寄席 林家たい平・林家木久蔵二人会
テレビで活躍中で人気の林家たい平と、林家木久扇を父に持つ二代目林家木久蔵を迎え、新春の豪華な寄席を開催します。ぜひお誘いあわせてお越し下さい。

掛川市文化会館シオーネ

掛川市

【住所】〒437-1421 掛川市大坂7373
【TEL】0537-72-1234 【FAX】0537-63-3305
【URL】<http://k-kousya.or.jp/sione/>
指定管理者：公益財団法人掛川市生涯学習振興公社



愛称の「シオーネ」は、遠州灘の響きをイメージする潮音が語源。施設は音響が自慢の大ホールや小ホールに、会議室、稽古場、和室などをご利用いただけます。コンサート、観劇、映画、講演会、ダンスなど様々なジャンルに対応できます。

3/11(土)14:00～
吉田正記念オーケストラ「いつでも元気が出るコンサート」
映画音楽、タンゴ、ラテン、シャンソンなど、クラシックに固執しないプログラムを取り上げる日本唯一のムードオーケストラ。

吉田町学習ホール

榛原郡吉田町

【住所】〒421-0301 榛原郡吉田町住吉1567
【TEL】0548-32-7366 【FAX】0548-34-0209
【URL】<http://www.town.yoshida.shizuoka.jp/2359.htm>
吉田町直営



昭和60年8月の開館以来、総座席数360席の小ホールは、貸館として地域の方々の演芸や集会、公演、発表、研修等の会場として地域のみなさまにご利用いただいています。

3/5(日)18:30～ 第18回スプリングジャズライブ
ジャズビッグバンド「ザ・スイングハード・オーケストラ」による繊細で力強いジャズのセッションをお楽しみください。

長泉町文化センター ベルフォーレ

駿東郡長泉町

【住所】〒411-0943 駿東郡長泉町下土狩821-1
【TEL】055-989-0001 【FAX】055-989-0500
【URL】<http://nagaizumi-culture-c.jp/>
指定管理者：㈱SBSプロモーション、㈱エスピーエスたくみ、㈱NTTファシリティーズ東海支店



長泉町文化センターは、演劇や講演会、コンサート等にご利用いただける800名収容のホールの他、イベントホール、リハーサル室、会議室、工芸室、和室、調理実習室、ティーラウンジを有する多目的施設です。

1/22(日)13:30～ ベルフォーレ軽音JAM! アコースティック篇
東部地区で活躍するアマチュアミュージシャン3組が熱いメッセージを込めた演奏を披露。

こどもに、大人に、きちんと伝えよう 地域の文化

文化芸術は人をつくり、まちをつくり、未来をつくります。
県内各地で優れた文化活動を行っている団体をご紹介します。

シーンボイス・浜松

浜松市

●映像文化(映画、写真等) ●代表／高林裕子 浜松市東区小池町87

笑って、泣いて。映画の世界の感動をともに。

視覚に障害のある人たちが映画を楽しむ際には、せりふなどの音声から状況をイメージします。「シーンボイス・浜松」は、役者の表情・風景といった視覚的な情報をナレーションで伝える音声ガイドを作成し、より多くの人が映画を楽しめるようサポートしています。まずは映画を選び、著作権問題を解決した後、音声ガイドの台本を作成し読み合わせて録音します。さらに編集作業を繰り返し、上映に至ります。台本の作成で3カ月、全工程に数カ月を要することありますが、視覚に障害のある人も当たり前映画を楽しめる社会であってほしいという思いのもと、地元映画館の協力を受けながら、当事者団体とともに上映会を続けています。



電波発信機で音声を送信され、視覚に障害のある人たちはFMラジオ受信機を使って聞き取ります。上映会の開催場所は浜松市の「シネマイーラ」など。

日本茶道塾

袋井市

●生活文化(茶道、華道等) ●代表／吉野白雲 袋井市浅羽1246-5

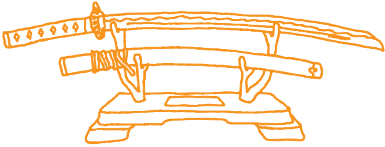
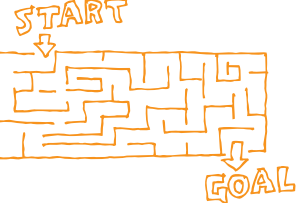
文化としての「茶」を知り、学び、伝えていく。

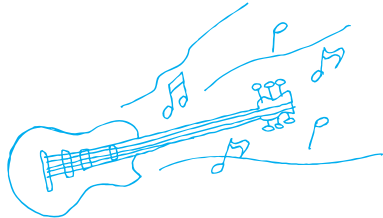
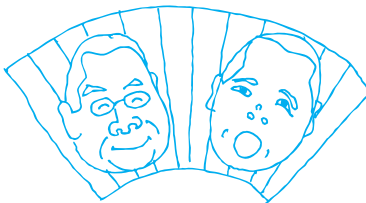
古くから茶の名産地として知られてきた静岡県。明治期の大開墾以降は海外への輸出も増え、静岡茶は世界に誇るブランドを確立しました。一方で、県民一人ひとりにとって「茶」はあまりにも身近な存在。そのものが「文化」とであるという認識が薄いという課題もあります。そのため、あらためて深い歴史を認識し、誰もが茶文化を楽しめるよう時代に合わせた新しいかたちで発信していくことを重要な責務としています。活動内容は、講演会や冊子を通じた歴史文化の共有、文化財や国宝にふれながら質の高い茶文化を体感する機会の創出など、幅広く多彩。茶を楽しみつつ交流し、その魅力を次世代へと伝えられるような様々な取り組みを進めています。



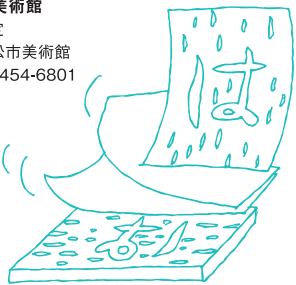
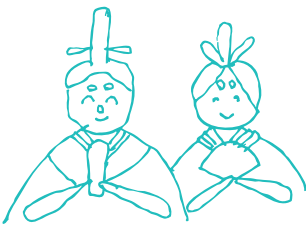
学ぶだけでなく、「伝え」「もてなせる」人材の育成を目標に、新点前や静岡オリジナル移動茶室など新しいスタイルの茶文化を創造・発表し続けています。

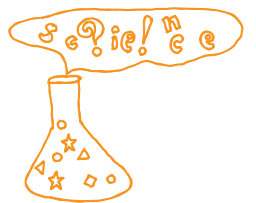


1/14[土] 18:00～ 新春 宮田まゆみ 笠りサイタル 静岡音楽館AOI 一般3,000円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	1/1[日・祝]～1/9[月・祝] 9:00～17:00 千支の生き物一酉ー 東海大学海洋科学博物館 高校生以上1,500円、4才～中学生以下750円 【問】東海大学海洋科学博物館 tel.054-334-2385	中 部 for Central
麻機沼にある、美味しい味覚。 麻機沼では、古くからレンコン栽培が盛んです。大昔の水生植物が堆積した蓮根田は、栄養分に富んでいて、その土壌が、シャキッとした食感、糸を引くほどの粘りのある「あさはた蓮根」を生み出します。おせちには欠かせない酢レンコンで、将来の見逃しもばっちりです。	1/1[日・祝]～1/9[月・祝] 9:00～17:00 千支の化石一酉ー 東海大学自然史博物館 高校生以上1,000円、4才～中学生以下500円 【問】東海大学自然史博物館 tel.054-334-2385	
1/21[土]～3/26[日] 9:00～17:00 第69回企画展 「島田の刀鍛冶と天下三名槍」 島田市博物館 一般500円 【問】島田市博物館 tel.0547-37-1000	1/4[水]～9[月・祝]・14[土]・15[日]・21[土]・22[日] 10:00～15:30受付 挑戦! る・く・るダンボール迷路 静岡科学館る・く・る 参加無料・申込不要(要入館料) 【問】静岡科学館る・く・る tel.054-284-6960	開催中～1/24[火] 9:00～17:00 八雲が愛した出雲の玩具展 焼津小泉八雲記念館 入場無料 【問】焼津小泉八雲記念館 tel.054-620-0022
		開催中～3/20[月・祝] 9:00～16:30 優しさで包む人エミリー・M・マッケンジー 旧マッケンジー住宅 入場無料 【問】(公財)静岡市文化振興財団 tel.054-255-4746
1/21[土]～3/26[日] 9:00～17:00 収蔵品展「海野光弘 冬～郷の灯～」 島田市博物館分館 一般500円 【問】島田市博物館分館 tel.0547-34-3216	1/4[水] 14:00～ 石川綾子ヴァイオリンコンサート 焼津文化会館 1,000円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111	
1/22[日] 13:00～／16:30～ コロッケコンサート 笑う“顔”には福来たる! 大井川文化会館ミュージコ 5,000円 【問】大井川文化会館ミュージコ tel.054-622-8811	1/6[金] 18:30～・1/7[土] 13:00～ 劇団四季ファミリーミュージカル 王子とこじき 静岡市民文化会館 S席／大人5,400円、小学生以下3,240円 A席／大人3,240円、小学生以下2,160円 【問】劇団四季 静岡オフィス tel.054-275-3050	春を予見させる味と香りを。 清水区生まれのみかん「はるみ」は、清美とボンカンの配合種です。果皮は艶があり、果肉はジューシーでありながら一粒一粒がしっかりしていて、食べるとプチプチとした食感を舌に感じられます。ボンカンに似た甘みと酸味のバランスは、まさに爽やかな春を思わせてくれるでしょう。
「三日とろろ」で今年の願掛けを。 毎年3日にとろろを食べる「三日とろろ」の風習は、その1年の健康と長生きを祈願するとともに、おせち料理で疲れた胃を休める整腸作用があると言われています。静岡市で育てられた美味しい自然薯で、一年を乗り切る英気を養いましょう。	1/9[月・祝] 14:00～ Piano Duo Concert 藤枝市民会館 一般2,000円、高校生以下1,000円 【問】藤枝市民会館 tel.054-643-3931	201612/17[土]～2/26[日] 9:30～16:30 写された明治時代 ーエンバーソンのガラス乾板と絵はがきー フェルケール博物館 一般2,000円、高校生以下1,000円 一般400円、中高生300円、小学生200円 【問】フェルケール博物館 054-352-8060
1/28[土]～3/5[日] 9:00～16:30 くろがね 鉄の文化 日本刀の輝き 静岡市文化財資料館 一般200円、小中学生50円 【問】静岡市文化財資料館 tel.054-245-3500	1/14[土] 14:30～ 今度は音のサイエンス! ストリングラフィ・アンサンブルコンサート 藤枝市生涯学習センター 入場無料 (要整理券 12/20[火]9:00～藤枝市内公民館等で配布) 【問】藤枝市生涯学習課 tel.054-643-3047	
1/28[土] 13:00～ 映画「先祖になる」 川根本町文化会館 一般1,000円、小中高生500円、 【問】川根本町文化会館 tel.0547-59-3106	豆まきとは違った邪気退散方法。 静岡浅間神社の節分祭には、シトミウチ(鄙打ち)と称される特殊な神事があります。梅と柳の枝を一本ずつ束ねたオニヤラボウ(鬼やらい棒)で板を叩き、大きな音を拝殿内に響きわたらせることで、邪気を退散させていたそうです。今年の節分はシトミウチを体験して、福を呼び込んでみては。	201612/17[土]～3/5[日] 9:30～17:30 静岡凱旋展 天野喜孝-ORIGIN ～アニメ、ゲームキャラクターデザインを中心に～ 駿府博物館 高校生以上800円、中学生以下無料 【問】駿府博物館 tel.054-284-3216

2/25[土]～4/2[日] 10:00～17:00 佐野美術館のおひなさま 大きな雛人形と小さな雛道具 佐野美術館 一般・大学生1,000円、小・中・高校生500円 【問】佐野美術館 tel.055-975-7278	1/15[日] 14:00～ 富士宮プレミアムコンサート合唱団 第7回新春コンサート 富士宮市民文化会館 指定席3,000円、自由席2,000円、学生1,000円 【問】富士宮プレミアムコンサート合唱団(リアルネット) tel.0544-21-9818	歩いて、出会って こころ温もる 静岡の冬 1月～3月のイベント情報
2/26[日] 11:00～ 第4回沼津ジャズフェスティバル 沼津市民文化センター 1,500円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111	1/22[日] 13:30～ ベルフォーレ軽音JAM 長泉町文化センターベルフォーレ 一般500円 【問】長泉町文化センターベルフォーレ tel.055-989-0001 	
3/4[土] 14:00～ わらび座 舞楽詩「風の又三郎」 沼津市民文化センター 一般3,500円、高校生以下2,000円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111		東 部 for Eastern
3/9[木] 時間未定 新人音楽家による演奏会2017 富士市文化会館ロゼシアター 1,000円 【問】富士市文化会館ロゼシアター tel.0545-60-2500	1/29[日] 14:00～ ベルリン・フィル八重奏団 三島市民文化会館 S席7,000円、A席5,000円 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455	開催中～3/5[日] 9:00～16:30 企画展 伊豆の国 昔話・伝説の世界へようこそ 伊豆の国市韮山郷土史料館 一般200円、小中学生100円 【問】伊豆の国市韮山郷土史料館 tel.055-949-4127
3/12[日] 13:30～(予定) 2017ベルフォーレ 中学生吹奏楽フェスティバル 長泉町文化センターベルフォーレ 500円 【問】長泉町文化センターベルフォーレ tel.055-989-0001	2/4[土]～5/28[日] 9:00～16:30 企画展「三島呂人形展」 三島市郷土資料館 入場無料(要楽寿園入園料300円) 【問】三島郷土資料館 tel.055-971-8228	開催中～3/14[火] 9:00～17:00(最終入館16:30) 麗姿に魅せられて 伊豆ガラスと工芸美術館 一般850円、60歳以上700円、小中高生450円 【問】伊豆ガラスと工芸美術館 tel.0557-51-7222
3/26[日] 14:00～ 富士山ユースオーケストラ 第8回定期演奏会 富士宮市民文化会館 入場無料 【問】富士宮市文化課 tel.0544-22-1187	2/4[土] 14:30～ 西本智美&ロイヤルチェンバーオーケストラ コンサート 沼津市民文化センター 6,000円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111	開催中～4/23[日] 9:00～17:00(最終入館16:30) 「ガラス表現とモチーフー自然への憧憬」展 黄金崎クリスタルパーク 一般800円、小中学生400円 【問】黄金崎クリスタルパーク tel.0558-55-1515
3/26[日] 14:00～ 林家木久扇・桂文珍東西会 伊東市観光会館 3,500円 【問】伊東市振興公社 tel.0557-37-7135	2/12[日] 10:30～ 第9回ゆうゆうホール 高校生吹奏楽フェスティバル 三島市民文化会館 500円 ※3歳未満入場不可 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455	201612/17[土]～2/26[日] 9:00～16:30 駿東・北伊豆の戦国時代 富士山かぐや姫ミュージアム 入場無料 【問】富士山かぐや姫ミュージアム tel.0545-21-3380
	2/12[日] 13:00～／16:30～ 沼津寄席 春風亭昇太 柳家三三 二人会 沼津市民文化センター 3,500円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111	1/14[土] 14:00～ 富士市制施行50周年記念 フォレストアコンサート in 富士 富士市文化会館ロゼシアター 4,000円 【問】富士市文化会館ロゼシアター tel.0545-60-2500
富士山が誇る、期間限定の宝石。 冬至までの限られた期間のみ富士山頂から日が昇る現象は、その美しさから「ダイヤモンド富士」と呼ばれています。まるでダイヤモンドのような輝きを放つ太陽を綺麗に見られる富士川町高下地区は、「日出づる里」と呼ばれるほど。期間限定の宝石を記憶の中に残してみては。	2/25[土]～3/5[日] 10:00～18:00 ※最終日17:00まで 新進アーティスト作品展Vol.15 Art Generation2017 富士市文化会館ロゼシアター 入場無料 【問】富士市文化会館ロゼシアター tel.0545-60-2500	1/14[土] 14:30～ 芯音～丸田美紀 箏りサイタル～ 富士宮市民文化会館 一般3,000円、高校生以下1,000円 【問】丸田美紀りサイタル実行委員会 tel.0544-23-9279 富士宮市民文化会館 tel.0544-23-1237



2/12【日】 14:00～16:00(予定) わらび座 奇想天外 歌舞音曲劇 げんない 菊川文化会館アエル 一般4,000円、高校生以下1,500円 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-37-3232 	1/22【日】 14:00～ 和洋奏楽 ～世代とジャンルを超えた音楽の世界 アクトシティ浜松 指定席2,000円、自由席1,500円、学生自由席500円 【問】公益財団法人浜松市文化振興財団 文化事業課 tel.053-451-1151	西部 for Western
2/19【日】 15:00～ 東京フィルハーモニー交響楽団演奏会 磐田市市民文化会館 S席5,000円、A席4,000円、高校生以下1,000円 (チケット販売終了) 【問】磐田文化振興会 tel.0538-35-7133	冬の味覚、クエを味わう。 御前崎市は幻と呼ばれる魚「クエ」を国内で初めて完全養殖することに成功した世界でも名高い地域です。刺身はもちろん、鰯にしてもその味は格別。皮と身の間にセラチン質がたっぷり含まれ、頭部には濃厚な旨みがきっちり詰まっています。寒い冬に味わってみてはいかがでしょうか？	
2/28【火】～3/26【日】 9:30～17:00 ※最終日16:00まで 第13回浜松市美術館版画大賞展 浜松市美術館 料金未定 【問】浜松市美術館 tel.053-454-6801 	1/28【土】～3/12【日】 9:30～17:00 特別展「人物に託す意思 山田優アントニ×川島優」 浜松市秋野不矩美術館 一般500円、高校生300円、小中学生150円 【問】浜松市秋野不矩美術館 tel.053-922-0315	開催中～3/3【金】 9:30～17:00 2017おひなさま展 磐田市新造形創造館 つくるっぺい 入場無料 【問】磐田市新造形創造館 tel.0538-33-2380 
3/5【日】 10:00～ OUT OF SCHOOL にじむ紙に絵を描こう 浜松市鶴江アートセンター 小学生500円 【問】浜松市鶴江アートセンター tel.053-458-5360	「マンサク」の群生地。 県内では見かけることの少ないマンサク。三ヶ日町の乎那の峰(おなのみね)は、100本ほどのマンサクが群生している珍しい土地です。糸状の黄色い花が特徴的なマンサクは、春の訪れを知らせてくれます。	1/14【土】 14:00～ 創立20周年記念 2017 浜フィル ニューイヤーコンサート アクトシティ浜松 指定席／SS席10,000円、S席8,000円、A席6,000円 自由席／一般5,000円、学生2,000円 【問】浜松フィルハーモニー管弦楽団事務局 tel.053-458-6636 
3/5【日】 14:00～ いわた音楽まちめぐり いわた・バラエティ・ライブ 磐田市福田中央交流センター ホール 一般1,000円 【問】磐田市文化振興会 tel.0538-35-7133	2/3【金】 19:00～・4【土】 14:00～ ミュージカル 『天使にラブ★ソングを～シスター・アクト～』 アクトシティ浜松 S席12,500円、A席10,000円 【問】公益財団法人浜松市文化振興財団 tel.053-451-1114 テレビ静岡事業部 tel.054-261-7011	春を告げる、日本一の新玉葱。 日本で最も早く出荷される新玉葱が、浜松南部の海岸で育てられる「サラダオニオン」。真っ白な肌と平たいフォルムが特徴のこの玉葱は、やわらかい肉質と辛みが少ないことが特徴です。食卓に春を告げる採れたての味をぜひ楽しんでください。
3/18【土】 10:00～ 浜名湖の砂で砂時計を作ろう! 浜名湖体験学習施設ウォット 一般310円(要事前予約) 定員15名 【問】浜名湖体験学習施設ウォット tel.053-592-2880 	2/8【水】～19【日】 9:30～17:00 ※最終日16:30まで 浜松市芸術祭 第64回市展 浜松市美術館 入場無料 【問】浜松市美術館 tel.053-454-6801	1/21【土】 13:45～ オール静岡! 学校と地域の連携推進講座 こばたてるみ氏講演会 静岡県総合教育センター 入場無料 【問】静岡県総合教育センター生涯学習推進室 tel.0537-24-9715

3/11【土】 14:00～ くるくるシルク抱腹絶倒サーカステラックス 川根本町文化会館 一般1,000円、小中高生500円 【問】川根本町文化会館 tel.0547-59-3106	2/12【日】 14:00～ 津軽三味線 浅野祥 コンサートツアー2017 焼津文化会館 一般3,000円、高校生以下1,000円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111	1/29【日】 14:00～ 人づくり藤枝塾 映画上映会 映画「遺体 ～明日への十日間～」 藤枝市生涯学習センター 入場無料 (要整理券 12/20【火】9:00～ 藤枝市内公民館等で配布) 【問】藤枝市生涯学習課 tel.054-643-3047
3/11【土】 17:00～ 焼津寄席 小朝・たい平二人会 焼津文化会館 3,500円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111	2/17【金】 19:00～・18【土】 15:00～ HAGOROMOプロジェクト(演劇編) 三島由紀夫『豊饒の海』第四巻「天人五衰」 静岡市清水文化会館マリナート 一般4,000円、学生2,000円 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885	1/31【火】～4/2【日】 9:00～17:00 三人の広重 静岡市東海道広重美術館 一般510円 【問】静岡市東海道広重美術館 tel.054-375-4454 
3/11【土】 17:00～・12【日】 14:00～ 静岡市民文化会館オリジナル舞台公演 「ACTION!!～シズオカ新撰組血風録～」 静岡市民文化会館 一般2,000円、大学生以下1,000円 【問】静岡市民文化会館 tel.054-251-3751	2/18【土】～3/26【日】 10:00～ 夢二と京都の日本画 静岡市美術館 一般1,000円、大高生・70歳以上700円、中学生以下無料 【問】静岡市美術館 tel.054-273-1515	2/4【土】 13:00～16:00(最終入場15:45) 2/5【日】 10:00～16:00(最終入場15:45) サイエンスピクニック2017 静岡科学館る・くる 参加無料・申込不要(要入館料) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960 
3/18【土】～5/7【日】 9:30～17:00(最終入場16:30) 企画展「サイエンス×アート展 ～魔法って、カガク!?～」(仮) 静岡科学館る・くる 参加無料・申込不要(要入館料) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960 	藤枝の冬の風物詩。 県内の街中で開催されるイルミネーションとしては最大級の規模を誇る「ルミスタふじえた☆ファンタジックイルミネーション」。今年のテーマは『ふじえた花回廊』です。約24万球のLEDが、花をイメージしたイルミネーションや美しい映像などを演出します。	
3/18【土】・19【日】・25【土】・26【日】 全日17:45～19:00 恐竜ナイトツアー 東海大学自然史博物館 高校生以上1,000円、4才～中学生500円 【問】東海大学自然史博物館 tel.054-334-2385 	3/4【土】～4/16【日】 9:30～16:30 大正ロマンと女性の手仕事 一大正～昭和初期のくらしとデザイン～ フェルケール博物館 一般400円、中高生300円、小学生200円 【問】フェルケール博物館 tel.054-352-8060	冬に見る桜の花。 興津では冬に見られる桜があります。日米友好のシンボルとして送られた桜の苗木と兄弟の興津の薄寒桜は、淡い桃色の可憐な花をつけ、冬の澄んだ空との相性が良く、美しい情景を感じることができます。
3/25【土】 14:00～ 静岡交響楽団 第70回 定期演奏会 ベートーヴェン・シリーズ vol.5 ～オーケストラの日コンサート～ 静岡市清水文化会館マリナート A席4,500円、B席3,500円(学生1,500円) 【問】特定非営利活動法人静岡交響楽団 tel.054-203-6578	3/4【土】 14:00～ モト冬樹・桑野信義・つのだ☆ひろ 足袋姿三人男 パート2 大井川文化会館ミュージコ 一般4,000円、中学生以下1,000円 【問】大井川文化会館ミュージコ tel.054-622-8811	2/11【土・祝】 14:00～ 井上久美子ハープトリオ ～美しきハーブの調べ～ 大井川文化会館ミュージコ 3,000円 【問】大井川文化会館ミュージコ tel.054-622-8811 
新春の神事芸能、藤守の田遊び。 大井川の「田遊び」は正月の神事芸能で、新春にその年の豊作を予祝するべく稲作の労働過程を演舞にて表現します。この演舞は、青年が顔に化粧をして、女人を擬した色彩豊かな衣装を身につける極めて珍しい祭事として知られています。穏やかな春の陽気を感じに足を運んでみては。	3/5【日】 15:00～ ベートーヴェン：チェロ・ソナタ全曲集 静岡音楽館AOI 一般5,000円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	

“宮城聡×シェイクスピア” 待望の新作と、再演を重ねる大ヒット作の連続上演！



『冬物語』イメージ写真 撮影：小演晴美

#4 【新作】

シェイクスピアの『冬物語』

妻と親友の浮気を疑った王は、妻子を失ってようやく自らのあやまちに気付く。
悲しみと後悔にくれる王…。しかし16年後、すべての苦悩が癒される奇跡の日が訪れた！天才劇作家晩年の奇想天外なストーリーを、演出家・宮城聡の名を世に知らしめた、語り手と動き手による「二人一役」の手法で描く。この春、新たなSPACシェイクスピア・レパートリーが誕生する！

1/21[土] 15:00～・22[日] 14:00～
29[日] 14:00～
2/4[土] 15:00～・5[日] 14:00～
11[土・祝] 15:00～・12[日] 14:00～

静岡芸術劇場

演出：宮城聡 作：ウィリアム・シェイクスピア 翻訳：松岡和子
音楽：棚川寛子 出演：SPAC

#5

真夏の夜の夢

劇作家・演出家の野田秀樹が、シェイクスピアの恋物語を大胆に潤色。富士山麓の「知られざる森」を舞台に、原作には登場しない悪魔メフィストフェレスを忍び込ませ、見る者を夢と悪夢のはざまへと誘う。その巧みな言葉遊びに、宮城聡ならではの機知に富んだ演出と躍動感あふれる打楽器のリズムが絡み合い、幻想的な森の異世界が立ちあがる！再演を重ねる大ヒット作が堂々登場！

2/25[土] 14:00～・3/5[日] 14:00～
11[土] 15:00～・18[土] 15:00～
19[日] 14:00～・20[月・祝] 14:00～

静岡芸術劇場

演出：宮城聡 作：ウィリアム・シェイクスピア 小田島雄志訳『夏の夜の夢』より
潤色：野田秀樹 音楽：棚川寛子 出演：SPAC



棚川 寛子（たなかわ・ひろこ）

舞台音楽家。演劇作品の音楽を作曲し、俳優への演奏指導と併せて行うスタイルで活動している。2003年、宮城聡演出ク・ナウカシアターカンパニーの『マハーバーラタ』で朝日舞台芸術賞を受賞。14年には同作品がフランス、アヴィニョン演劇祭に正式招聘されSPACによる上演で絶賛された。その他にも小学校や児童養護施設でのワークショップ等、精力的な活動を続けている。しかし、正規の音楽教育を全く受けていない、言わばこの分野でのアウトサイダーアーティストとも言える稀有な存在である。

宮城演出作品に欠かせない俳優による生演奏
目指すのは、動き・台詞・音楽の三位一体

——まずは、棚川さんのお仕事について教えてくださいませんか？

芸術総監督・宮城聡演出のSPAC作品を観たことがある方ならご存じだと思いますが、宮城作品ではよく、劇中で音楽が生演奏されます。その音楽を作るのがSPACでの私の仕事です。ちなみに、演奏しているのは音楽家ではなく出演している俳優たち。このスタイルは宮城作品ならではの、俳優に曲を覚えてもらうのも私の仕事です。

——どのような流れで音楽を制作されているのでしょうか？

台本が出来上がるタイミングや制作期間などにもよりますが、まずは台本を読んで、全体の流れを考えます。台本が楽譜代わり、という感じでしょうか。でも、曲のイメージが一番湧くのは稽古場なんです。俳優の声も作曲の重要なヒントになるので、稽古を見ながら作曲することが多いです。

曲ができたら俳優に演奏を指導していくわけですが、実は私、楽譜が読めないし、書けないんですよ。だから、教えるときは自分で実際に演奏して、「こんな感じかな」と説明しています。一人に教え終わったら、その人が練習をしている間に別

のパートを担当する人に教えるというのを繰り返して、五人ぐらいに演奏を教え終える頃に一曲仕上がり、という感じなんです。びっくりするぐらいアナログですよ。俳優からも「楽譜を書けるようになってよ」と言われ続けています（笑）。使用する楽器は打楽器がメインです。音階がある楽器も叩けば音が鳴るものばかり。楽器の演奏経験がない俳優も多いので、特別な技術がなくても音が出るという点が大切なんです。ちなみに、指揮者も俳優がやっています。

——演技もして演奏もして…。俳優さんたちは大変ですね。

本当に大変だと思います。台詞と動きを覚えるだけでも大変なのに、そこに演奏が加わるわけですから。当然、練習時間も長くなりますし、上演中も、自分の出番がない間は舞台の袖で休む、ということもできません。宮城作品に初めて参加する俳優の多くが、「こんな面倒くさいやり方するの？」と驚きます（笑）。

——年明け一月からシェイクスピアの『冬物語』と『真夏の夜の夢』が連続上演されます。それぞれの見どころ・聴きどころを教えてください。

『真夏の夜の夢』は再再演となります。野田秀樹さんの脚本がとにかく面白く、台詞のリズムもすごくいいんです。だから、曲作りはともスミーズでした。そんなテンポの良さや、華やかな雰囲気を楽しんでほしいですね。恋あり、ギャグありでわかりやすいストーリーも魅力で、演劇を観たことがないという方にもおすすめです。

『冬物語』は、舞台音楽の制作はまだこれからという段階でして、どんなものになるのかまったく見えていません（笑）。ただ、本作は、演技をする役者「ムバー」と、台詞を話す役者「スピーカー」が二人で「役をこなす宮城の代名詞」とも言うべき手法で行います。シェイクスピア作品の上演スタイルとしては、類をみないものになると思いますので、その新しいチャレンジを見てもらえたら嬉しいですね。

また、宮城はよく、「役者の動き、台詞、音楽が三位一体にならないといけない」と言っています。私も俳優も、三位一体を通してはじめて立ち現れてくる何かを探し求めていますので、ぜひ皆さんにも劇場でそれを感じていただけたらと思っています。

（2016年10月 静岡芸術劇場にて）

チケット	2作品をお得に楽しめる！「冬・夏」セット券 一般7,200円（日付指定）		チケット 購入方法	電話予約／SPACチケットセンター（受付時間10:00～18:00） TEL:054-202-3399 ※12/29（木）～1/4（水）はお休みさせていただきます ウェブ予約／ www.spac.or.jp/ticket
	一般 4,100円／ゆうゆう割引 3,400円（満60歳以上対象） 学割：大学生・専門学校生 2,000円／高校生以下 1,000円 ※セット券は電話・窓口のみでのお取り扱い。2作品のチケットを同時に購入した場合のみ適用されます。 ※その他各種割引あり			

会 期 |

2017年2月1日[水]—

3月26日[日]

休 館 日 |

毎週月曜日 ただし、3月20日[月・祝]は

開館し、翌21日[火]に休館

開 館 時 間 |

10:00—17:30

※展示室への入室は17:00まで

主 催 |

静岡県立美術館

静岡朝日テレビ

協 賛 |

ANAホーム静岡

静岡展特別協力 |

新静岡セノバ

協 力 |

富士フイルムイメージングシステムズ株式会社

東京リスマチック株式会社

企画協力 |

Lucky Star Co., Ltd.

小山登美夫ギャラリー

静岡県立美術館

Shizuoka Prefectural Museum of Art

30th ANNIVERSARY

山の風景

富士山、箱根からスイスの山まで

2017
2/1[水]→4/2[日]

失われた風景との対話

五姓田義松《富士》

現在の清水港、三保松原から富士を望む風景を想像していただきたい。おそらく、すっかり様変わりしていることにショックを受けるだろう。この作品の画面手前には、広々とした田園が描かれ、煙突や高層ビルなど風景をささげるものは、全く存在しない。この作品との対話は、失われた風景を自らの記憶にとどめることを意味している。

観覧料

一 般

1200 [1000] 円

高校生・大学生・70歳以上

600 [500] 円

中学生以下 無料

※「」内は前売および20名以上の団体料金※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料※収蔵品展ロタン館も併せてご覧いただけます

静岡県立美術館

Shizuoka Prefectural Museum of Art

30th ANNIVERSARY

つながる、次へ

県立美術館は開館30周年を迎えました。

美術館の基礎となる美術作品の収集を進め、収蔵品を活用した展覧会を展開しています。

「西洋の絵画 画材とともに3」ではヤン・ファン・ホイエン、ギュスターヴ・クールベ、

「山の風景」では佐分真、五姓田義松の作品などをそれぞれ展示しています。

手を伸ばせば、そこにある風景

ギュスターヴ・クールベ《ピュイ・ノワールの溪流》

樹木と岩と水の流れ。画家独自の視覚は、これら三要素のみで成り立った溪谷の眺めを切り取って描き出した。このユニークで大胆な構成により、迫り来る自然に囲い込まれるような錯覚を呼び起こす。自然の質感を描き分けるダイナミックな技術も見所である。

オランダを描く基本：層をなす雲、水、そして風車

ヤン・ファン・ホイエン《レーネン、ライン河越しの眺め》

低く、重くたれこめる灰色の雲。豊富な水量を誇るライン河は、陰気な空を映しながら、画面を横切ってゆったりと流れてゆく。渡し舟に乗ったり、漁をしたりと、慌しい人々とは対照的に、向こう岸には水辺の町レーネンを象徴する堂々たる聖クネラ教会や尖塔が見える。

西洋の絵画

画材とともに3

2016
11/8[火]→2017
1/9[月・祝]

山の風景

富士山、箱根からスイスの山まで

2017
2/1[水]→4/2[日]

失われた風景との対話

五姓田義松《富士》

現在の清水港、三保松原から富士を望む風景を想像していただきたい。おそらく、すっかり様変わりしていることにショックを受けるだろう。この作品の画面手前には、広々とした田園が描かれ、煙突や高層ビルなど風景をささげるものは、全く存在しない。この作品との対話は、失われた風景を自らの記憶にとどめることを意味している。

日本人が描いた海外の山岳風景

佐分真《雪のグリュンデルワルト》

佐分真は名古屋生まれの洋画家で、渡仏中の1927年に3人の仲間とともにこの地を訪れた（「グリュンデルワルト」は現在一般に「グリュンデルヴァルト」と呼ばれるスイス山岳観光の一拠点）。キュビズム的な建物の処理と、後の重厚な色彩感覚を予感させるモノクロームに近い色使いが印象的な佳品。佐分は帰国後も帝展等を舞台に活躍するが、1936年に自宅アトリエにて自死。本作は友人達によって編纂された遺作集に掲載されている。2013年本館収蔵作品。

静岡県立美術館

Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2

総務課Tel.054-263-5755 Fax.054-263-5767

学芸課Tel.054-263-5857 Fax.054-263-5742

テレフォン・サービスTel.054-262-3737

ウェブサイト…<http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

携帯電話サイト…<http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/i/>

静岡県立美術館

検 索

「グランシップ音楽の広場2017」オーケストラ・合唱団出演者募集

県内最大級の県民参加型音楽祭。記念すべき10回目の出演者の募集を開始します。
客席と舞台との一体感が味わえる特別な空間と一緒に創りましょう。多くのご参加をお待ちしています。

本番日／2017年 8/6(日) ※オーケストラは4月下旬、合唱団は5月下旬より練習開始予定。
参加費／オーケストラ・合唱団共 2,000円(大学生以下は1,000円) ※初回練習の際にお支払いください。
出演者等／指揮：広上淳一(京都市交響楽団常任指揮者、東京音楽大学教授)、
ソロ・コンサートマスター：徳永二男、コンサートマスター：西本幸弘

応募方法

指定の申込書に必要事項を記入の上、下記宛先まで郵送・FAX・メール・持参でご応募ください。
〒422-8005 静岡県駿河区池田79-4 「グランシップ音楽の広場」係
TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716 E-mail:info@granship.or.jp
詳細はお問い合わせください。応募期間：2月中旬～3月31日(金)

GRANSHIP NEWS

静岡英和学院大学・同大短期大学部と グランシップが包括連携協定を締結しました

2016年10月7日、静岡県文化・観光部長の立ち会いのもと、静岡英和学院大学・同大短期大学部とグランシップが、静岡県の文化力の向上や人材育成の一層の発展を目指し、包括連携に関する協定を締結しました。
グランシップでの学生インターンシップの受入、グランシップ主催事業と教育カリキュラムの連携、学生の公演鑑賞の促進など、今後様々な連携事業に取り組んでいきます。



(右から)静岡英和学院大学 学長 柴田 敏様 静岡県 文化・観光部長 西田 郁夫様 グランシップ 館長 石塚 正孝

TICKET

グランシップ主催事業の公演チケットは、以下の方法でお求めいただけます。(ご購入の際には、友の会へのご入会がオトクです。)

グランシップWEBサイトから



<http://www.granship.or.jp/>

グランシップWEBサイトのトップページの「チケット」から、空席状況に応じてお好きな席をお選びいただけます。(要事前登録、無料)

チケットの受取
コンビニ(サークルK・サンクス、セブン-イレブン、ファミリーマート：手数料無料)、郵送(送料410円)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)

お電話で



グランシップチケットセンター
TEL.054-289-9000
(営業時間10:00～18:30)

チケットの受取
コンビニ(サークルK・サンクス、ファミリーマート：手数料無料)、郵送(送料410円)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)

グランシップチケットセンター窓口で



グランシップ内
チケットセンター窓口
(営業時間10:00～18:30)

チケットの受取
お支払い(現金またはクレジットカード)後、その場でチケットをお渡しします。

PRESENT 『GRANSHIP』vol.8 読者アンケートプレゼント

「人形浄瑠璃 文楽」

人形遣い・桐竹勘十郎手描き色紙
(2016年10月10日グランシップ公演に出演)

『GRANSHIP』vol.8のアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で2名様に人形遣い・桐竹勘十郎手描き色紙をプレゼントいたします。官製はがきまたはメールで、住所・氏名・性別・職業・電話番号・アンケートのお答えをご記入の上、下記までお送りください。



2名様

[1] 今号でよかった記事は？ [2] 本誌へのご意見・感想をお聞かせください。
アンケート内容は、今後の誌面作りの参考とさせていただきます。尚、頂いた個人情報はプレゼントの発送にのみ使用します。締切は2017年2月15日(当日消印有効)です。

官製はがき宛先

〒422-8005 静岡県駿河区池田79-4
グランシップマガジン『GRANSHIP』vol.8 プレゼント係

メール宛先

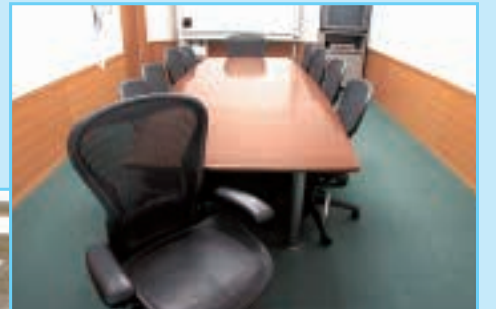
info@granship.or.jp
(件名に、『GRANSHIP』vol.8 読者アンケート係 とご記入ください)

編集後記

今号では、世界的ギタリストのリー・リトナーさんの単独インタビューを掲載しました。2015年の本誌リニューアル以降、はじめての海外アーティストで、“はじめで”に相応しいビッグネームとなりました。優しい笑顔で待ち合わせ場所に現れたリトナーさんは、終始穏やかに私たちの質問に答えてくれました。人生の中で音楽を楽しんでいること、音楽を通じて多くの仲間たち、ファンのみなさんと心を通わせていることが伝わる時間でした。3月にはいよいよグランシップのステージに登場します。グランシップから見える富士山も、雪が積もってますます美しくなるこれからの季節、県内外から多くの方にご来場いただきたいと思います。

貸施設のご案内

＼ご用途に合った会場がきっと見つかる！／
様々な使い方ができる大小19室の会議室



定員300名の大会議室(1001会議室一体利用)から10名の小会議室(1004・1201会議室)まで、19室もの会議室がある
グランシップ。会議、研修会や講演会、入学試験や就職ガイダンス、パーティーなど様々な用途でお使いいただけます。
大規模催事ではフロア貸切もおすすめ。10階フロアには展望ロビーがあり、開放的な雰囲気の中でご利用いただけます。
また、マイク等の音響設備、スクリーンは無料でご利用可能です。

耳より情報

9～12階の全会場を貸切でご利用いただく
場合、使用料の15%が減免されます。
グランシップなら大規模催事の開催もおトク。

用途に合った会場をご案内させていただきます。
まずはお気軽にお問い合わせください。



(催事サービスグループ チーフスタッフ 小松 由貴子)

●催事開催支援サービス

会議室の机、イスを通常配置からご希望
どおりに変更することも可能です。お気軽
にご相談ください。

●TOPIC

定員100名未満の会議室、練習室はWEB予約が
早くて便利。PCやスマホ、タブレットでお好きな時に
ご予約可能です。※利用者登録が必要です。



空き状況は
WEBでご確認できます。
※空き状況確認には
利用者登録は不要です。

会議室のご予約は利用日の6ヶ月前(対象月1日)
より受付開始します。

施設のご予約・サービスに関するお問い合わせは、(公財)静岡県文化財団 事業課 催事サービスグループへ
TEL.054-203-5713 FAX.054-203-6710
〈ご予約アドレス〉yoyaku@granship.or.jp 〈サービス専用アドレス〉service@granship.or.jp